

ヘルプ&サポート



ご利用にあたって



初期設定



WEBサイト専用



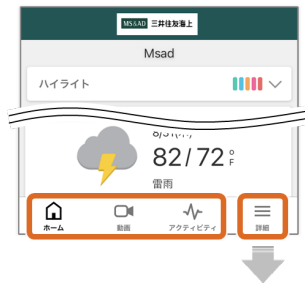
こんなときは



ホーム画面



サポートデスク



ホーム

動画

アクティビティ

ユーザー

通知

位置連動サービス

ルール

録画ルール (クラウド)の「ルールの管理」を参照してください。

アカウント管理



デバイスの管理

デバイスを追加する

ログイン情報

アプリの設定

新着情報

サポート

アプリを評価する

詳細情報

ログアウト

マニュアルの内容や画面は、アプリの仕様変更等により、予告なく変更になる場合があります。予めご了承ください。

ご利用にあたって

製品の特徴



- 1080pの高解像度映像
- 117°の広い視野角
- 内蔵のマイクとスピーカー
- ハイダイナミックレンジ (HDR)
光によって画像が白く飛ぶ現象（白飛び）を防ぎます。これにより、鮮明な映像を楽しむことができます。
- イーサネット接続やWi-Fi接続（2.4 GHz、5 GHz対応）
- 赤外線ナイトビジョン機能
- 双方向オーディオ機能
スマホに向かって発した声をカメラの前にいる人に届けることができます。これにより、家族とのコミュニケーションや不審者への警告などが可能です。
- 動画解析に対応
人や動物を判別できるため、人を検知した場合のみ通知をするなどの設定が可能です。
- microSDカード対応
SDカードを使うことで常時録画が可能になります。録画された映像はどこからでも確認できます。

Alarm.comについて

「Alarm.com」は、米国内外のスマート住宅・商業施設向けに、クラウドベースの包括的ソリューションを提供する企業です。2015年にはナスダックに上場しており、米国を中心に600万人以上のユーザーが当企業のサービスを利用しています。

当マニュアルについて

当製品はアプリケーションまたはWEBブラウザからの操作が可能です。一部、アプリケーションのみ、またはWEBサイト（カスタマーポータル）のみでの操作となる機能があります。

当マニュアルは、アプリケーションでの操作を中心に記載させて頂いています。WEBブラウザのみの操作となる機能のみカスタマーポータルの画面で説明させていただきます。

録画データについて

- 録画データへのアクセスは、強固なセキュリティによって守られたクラウドサーバーを介してのみ行われるため、安心してご利用頂けます。
 - 今回ご用意させて頂いたアカウントで保存できる動画は「3,000クリップ」です。3,000クリップを超えた場合、古い動画（保護されている動画は除く）から順に削除されます。
-

カメラの設定について

- 当製品をご利用いただくためには、初期設定をして頂く必要があります。未設定の場合、動画の録画などは一切行われません。
- ご用意させて頂いたアカウントに設定できるカメラは4台までです。
- 屋外にカメラを設置する場合、**設置作業は専門業社に依頼することをお勧めします。**

誤った方法でカメラを設置した場合、火災、感電、事故などを引き起こす可能性があります。

また、正しく設置されなかった場合などの故障および事故について当社はその責任を負いかねます。予めご了承ください。

カメラのLED表示について





● Off	電源が切れている状態
● Solid green	Alarm.comに接続
● ● ● ● Flashing green	ローカルネットワーク接続
● ● ● ● Flashing green+red	カメラを工場出荷時のデフォルトにリセット
● Solid red	ローカルまたはインターネット接続なし
● ● ● ● Flashing red	カメラ起動中
● ● ● ● Flashing blue	WSPモード
● ● ● ● Flashing white	Wi-Fiアクセスポイントモード

SDカードについて

カメラにSDカードをセットすることで、常時録画をご利用頂けます。

録画データはSDカードに保存されますが、カードの容量がいっぱいになり次第、古いデータから削除されていきます。保存期間は使用するSDカードの容量および録画の画質設定によって異なります。

<保存期間の目安>

録画の画質	カードの容量				
	32GB	64GB	125GB	256GB	512GB
 <p>低い 録画日数を増やす</p> <p>高い 録画日数を減らす</p> <p>フレームレート：10fps 解像度：640 x 360</p>	7日	15日	29日	59日	118日
 <p>低い 録画日数を増やす</p> <p>高い 録画日数を減らす</p> <p>フレームレート：10fps 解像度：1280 x 720</p>	4日	7日	15日	29日	58日
 <p>低い 録画日数を増やす</p> <p>高い 録画日数を減らす</p> <p>フレームレート：15fps 解像度：1920 x 1080</p>	2日	4日	7日	15日	30日
 <p>低い 録画日数を増やす</p> <p>高い 録画日数を減らす</p> <p>フレームレート：30fps 解像度：1920 x 1080</p>	1日	2日	5日	10日	20日

<推奨するSDカード>

- WD Purple micro SD cards
- Micron Industrial Memory cards
- SanDisk High Endurance

<使用できるSDカードの容量>

- 512GB以下

<録画データの暗号化>

- 録画されたデータは暗号化されています。このため、別の媒体（同型のAIカメラも含む）でデータを確認することはできません。
例えば、カメラAにセットされていたSDカードをカメラBにセットし、続きを録画することもできません。このSDカードをカメラBで使用するためには、SDカードのフォーマット（全データの削除）が必要です。

カメラの設置

カメラの設置方法を説明します。

準備するもの

設置までのステップ

1. 仮接続
2. 事前設定
3. 設置場所の検討
4. 設置

ADC-V523の設置

ADC-V724/724Xの設置

5. 初期設定

●知識

既にカメラが設置されている方は、初期設定にお進みください。

[カメラの設置](#) >

準備するもの

カメラ設置にあたり、以下のものを準備してください。

- ドリル
- ドリルビット（刃）
 - ADC-V523：6mm
 - ADC-V724/724X：6mm
 - ADC-VC727P：25mm、7mm または 3mm
- (+) ドライバー
- マークできるもの（鉛筆等）
- ハンマー（プラグボルトを打ち込む場合）



[カメラの設置TOPへ](#)

[設置までのステップへ](#)

[カメラの設置](#) >

設置までのステップ

カメラ設置の大まかなステップは、以下の5つになります。

1. 仮接続

カメラを箱から出し、常時録画を行う場合はカメラにSDカード※を納入し、仮に配線を接続します。（設置後、手戻り作業をしないために、設置する前にカメラの登録等を行います）

※SDカードの詳細は「[ご利用にあたって](#)」のSDカードについて（最下部に記載）を参照してください。

2. 事前設定

初期設定を行い、アプリからカメラの登録を行います。

3. 設置場所の検討

カメラを仮置きしながら、設置場所の環境、配線の長さ、Wi-Fiの電波状況、画角などを考慮して、適切な設置場所を決めます。

4. 設置

カメラを設置し、画角を確認しながら角度の調整を行います。

5. 初期設定

[キャリブレーション](#)を実行し、必要に応じて[録画ルール（クラウド）](#)、[録画ルール（ローカル）](#)を作成します。

●知識

映像が上下反転している場合は[カメラの反転設定](#)を参照ください。

[カメラの設置TOPへ](#)

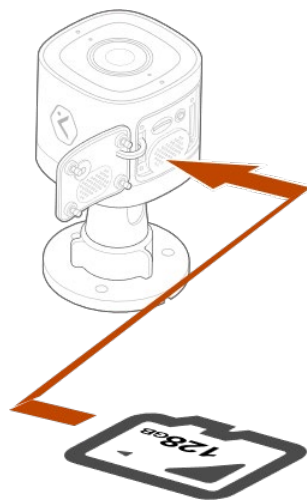
[1. 仮接続へ](#)

カメラの設置 > 設置までのステップ >

1. 仮接続

カメラを箱から出し、常時録画を行う場合はカメラにSDカード※を挿入し、仮に配線を接続します。

※事前に「ご利用にあたって」のSDカードについて（最下部に記載）をご一読ください。

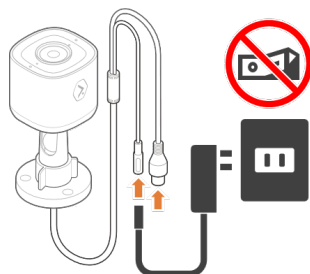


1) 常時録画を行う場合は、カメラにSDカードを納入します。

●知識

- 必ず電源を接続していないで行ってください。
- SDカードは、挿入方向を確認の上、ゆっくりと水平に差し込んでください。
- 誤った向きで取り付けた場合、SDカードが落下したり、本機の破損・故障の原因となることがあります。
- SDカード取付け後、カバーの場合はカバーを閉じてください。ふたの場合はふたを閉じ、ねじ止めをしてください。

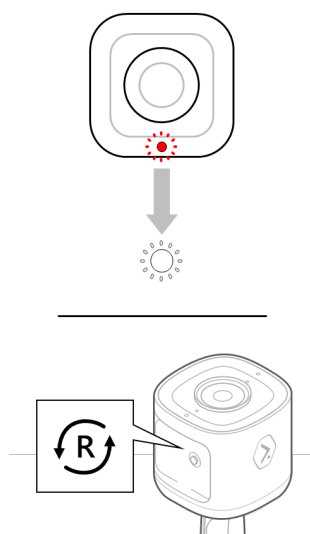
インターネット接続が無線の場合



1) カメラの AC 電源アダプターを接続し、コンセントに差し込みます。

●知識

スイッチなしコンセントを使用してください。



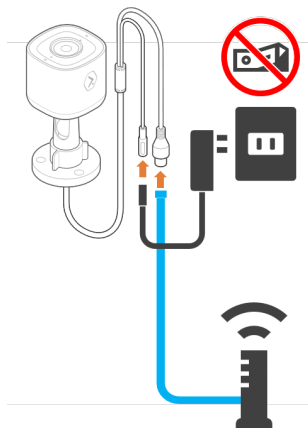
2) カメラの LED が白く点滅し始めます。

●知識

2分経っても LED が白くならない場合は、リセットボタンを押し続け、LED が白く点滅し始めたら離します (約 6 秒)。

インターネット接続が有線の場合

1) ルーターの LAN ポートとカメ

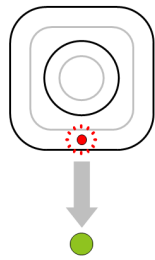


カメラをLANケーブルで接続します。

2) カメラのAC電源アダプターを接続し、コンセントに差し込みます。

●知識

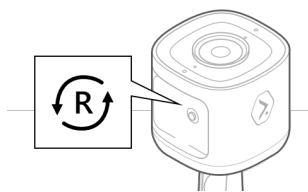
スイッチなしコンセントを使用してください。



3) カメラのLEDが緑に点滅し、やがて点灯します。

●知識

2分経ってもLEDが点灯しない場合は、リセットボタンを押し続け、LEDが緑に点灯したら離します(約6秒)。



[カメラの設置TOPへ](#)

[2. 事前設定へ](#)

[カメラの設置](#) > [設置までのステップ](#) >

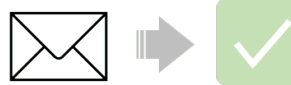
2. 事前設定

初期設定を行い、アプリからカメラの登録を行います。

1.
招待メールからアプ
リをインストール



2.
招待メールからアカ
ウントを有効化



3.
二要素認証の設定



4.
カメラの登録



1. 仮接続へ

3. 設置場所の検討へ

[カメラの設置](#) > [設置までのステップ](#) >

3. 設置場所の検討

カメラを仮置きしながら、設置場所の環境、配線の長さ、Wi-Fiの電波状況、画角などを考慮して、適切な設置場所を決めます。

注意事項

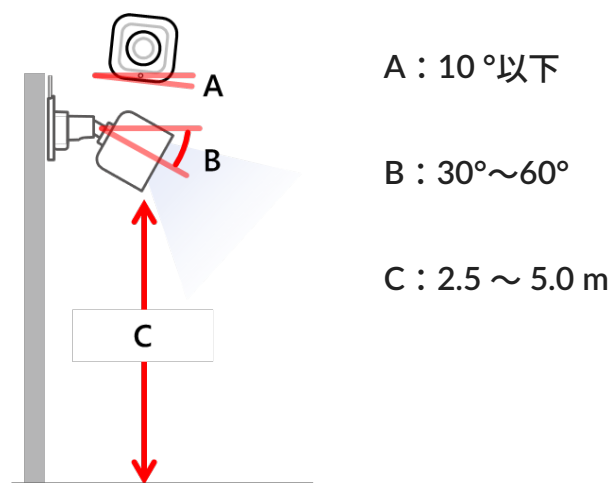
- 屋外にカメラを設置する場合、**設置作業は専門業者に依頼することをお勧めします。**
誤った方法でカメラを設置した場合、火災、感電、事故などを引き起こす可能性があります。
また、正しく設置されなかった場合などの故障および事故について当社はその責任を負いかねます。予めご了承ください。
- ご自身で設置する場合、マニュアルに従って設置してください。
作業中の危害、損害に関して当社はその責任を負いかねます。予めご了承ください。
- 「壁への穴あけ」および「穴の修復作業」に関して、当社はその責任を負いかねます。
賃貸住宅などは退去時に原状回復を求められることがあります。賃貸借契約の内容をご確認ください。
- カメラの設置や利用については、ご利用になるお客様の責任で被写体のプライバシー、肖像権などを考慮のうえ、行ってください。

- 変形や変色、故障や動作障害などを避けるために、以下の場所を避けて設置してください。
 - 直射日光が当たる場所や外灯の真下など
 - 振動や衝撃が多い場所や反響のある場所
 - 火気や熱器具、磁石などの磁気の近く、または冷暖房機（室外機を含む）の近く
 - 油汚れがつく場所や蒸気の出る場所
 - 携帯電話など強い電波を発する製品の近く
 - 医療機器や火災報知器などの近く
 - 温度変化が激しい場所
 - 海岸の近くや直接潮風が当たる場所、温泉地の硫黄環境
 - テレビ、ラジオ、パソコンなどのOA機器、エアコン、給湯器のリモコン（インターホン機能付き）、ホームセキュリティ関連装置の近く
 - CSデジタル放送受信機器（チューナー、チューナー内蔵のデジタルテレビ、レコーダーなど）の近く
 - 硫化水素、アンモニア、ほこり、有毒ガスなどが発生する場所
 - 配線が窓やドアなどに挟まれる場所

- 以下の場所への設置は、特に誤検知の原因となります。これらを避けて設置してください。
 - 狭い通路などで、真正面から人が近づいてくる場所
 - 風や他の要因によって揺れる植木や洗濯物がある場所
 - 車が多く通る道路の場所
 - 換気扇やエアコンの室外機、給湯器などに風や車の排気ガスなどが影響する場所
 - 強風の吹く場所や激しい雨が降る場所
 - 前方にガラスなどの障害物があり、温度の変化を感知しにくい場所
 - 明るさが頻繁に変わる場所
 - 以下のように逆光になる場所：
 - － マンションの上階など、背景に空が大部分を占める場所
 - － 直射日光が反射する白い壁が正面にある場所
 - － 直射日光が当たる明るい場所

- インターネット接続が無線の場合、Wi-Fiルーターから距離が離れていたり、次のような障害物があると、電波が弱くなり、通信ができない場合があります。これらを避けて設置してください。
 - 金属性のドアや雨戸、シャッター
 - アルミはく入りの断熱材が入った壁
 - コンクリートやトタン製の壁
 - 複層ガラスの窓
 - 壁を何枚も隔てたところ
 - ホームユニットと別の階や家屋で使うとき

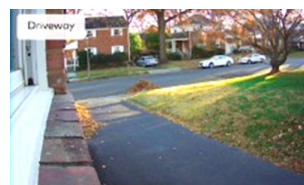
推奨設置条件



カメラの取付角度が
不適切な場合



カメラを適切な角度
で設置した場合



[2. 事前設定へ](#)

[4. 設置へ](#)

[カメラの設置](#) > [設置までのステップ](#) >

4. 設置

カメラを設置し、画角を確認しながら角度の調整を行います。

-
- 設置時は、以下の点に注意してカメラの取り付けを行ってください。
 - 天井には、取り付けないでください。
 - 穴を開けた部分には必ず防水処理をしてください。
 - 壁や天井等の建材にアスベストが使われているの疑いがある場合は、ご自身で取り外すなどしないで、専門業者などにご相談ください。材質が明らかでない場合は、建材を壊したり、穴をあけたりしないでください。
 - インパクトドライバーは使わないでください。ねじの破損による落下やけがの原因になります。
 - 不安定な場所、振動の多い場所には設置しないでください。落下による破損やけがの原因になります。
 - 強度の弱い壁には設置しないでください。落下による破損やけがの原因になります。
 - 付属品以外のACアダプターは使用しないでください。
 - ACアダプターは、屋内の壁か床に据え付けの電源コンセントに接続してください。
天井に据え付けの電源コンセントでは、ACアダプターの重みで外れる場合があります。
 - ACアダプターへの供給電圧は、定格電圧を超えないようにしてください。
 - 電源に接続した状態のまま、設置をしないでください。

- 壁材の種類に応じて、以下の点に注意してカメラの取り付けを行ってください。

<サイディングの場合>

- サイディング外壁だけで重量を支持するとサイディングが損傷するおそれがあります。
必ず、サイディングの内側にある柱などの構造体で支持できる場所に設置してください。
- サイディングの厚みなどにより、構造体で支持できない場合は、市販のねじを使用してください。
- サイディングの材質に適したドリルで下穴を開けてください。下穴を開けたあとは、粉を取り除いてください。
- サイディングの内側の構造体には、下穴を開けないように注意してください。

<コンクリートの場合>

- 市販のコンクリート用プラグボルトをお使いください。
- 取り付け前に、プラグボルトの説明書をお読みいただき、ドリル径と穴の深さを確認してから、プラグボルトを壁に取り付けてください。
- 下穴を開けたあとは、粉を取り除いてください。

<ALC（軽量発泡コンクリート）の場合>

- RALCパネルの種類（厚みなど）によっては取り付けられない場合もあります。取り付ける前に、ALCパネルメーカーにお問い合わせください。
- ALCパネルメーカーにお問い合わせの上、市販の金属製のALC用アンカーをお使いください。
- 取り付け前に、アンカーの説明書をお読みいただき、ドリル径と穴の深さを確認してから、アンカーを壁に取り付けてください。
- ALC用ドリルで下穴を開けたあとは、粉を取り除いてください。
- 下穴の周囲部を防水シール材（市販品）で防水処理をしてください。

<その他の壁（モルタル・タイル材など）>

- 住宅会社または工務店にお問い合わせのうえ、適切なねじやアンカー使って取り付けてください。
- 石こうボード、コンクリートブロック、屋外に露出した木材などには設置できません。

ADC-V523の設置



ADC-V724/724Xの設置

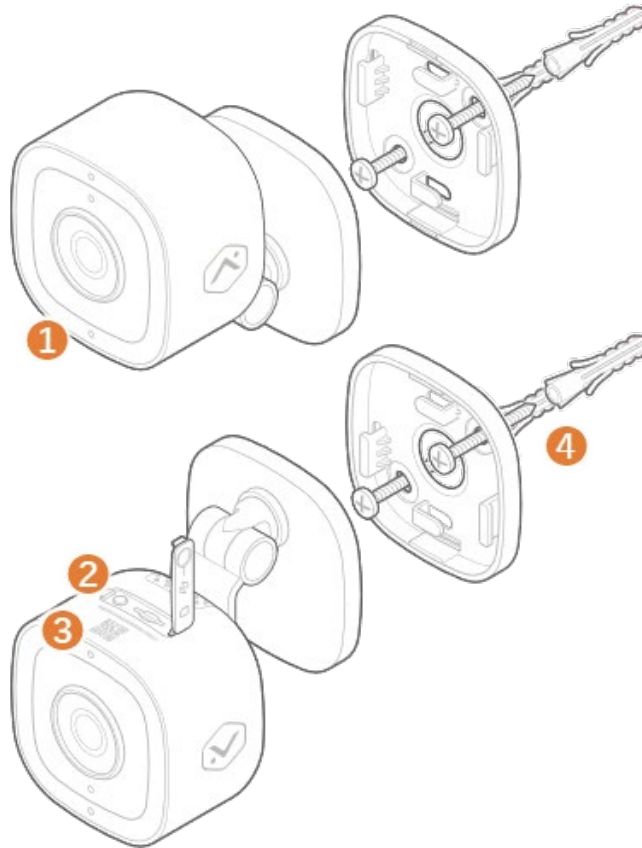


3. 設置場所の検討へ

カメラの設置 > 設置までのステップ > 4. 設置 >

ADC-V523の設置

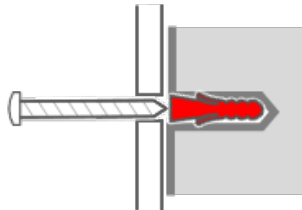
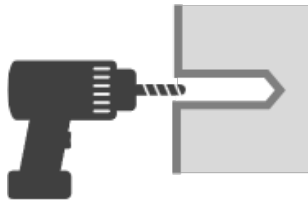
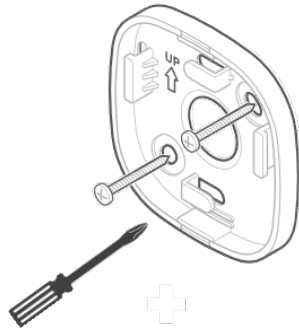
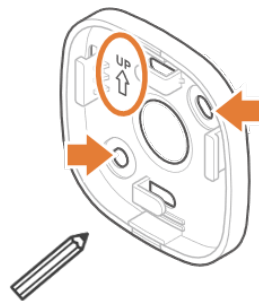
<各部の名称>



- ① LEDインジケータ
- ② リセットボタン
- ③ Macアドレス + QRコード
- ④ アンカー、ねじ

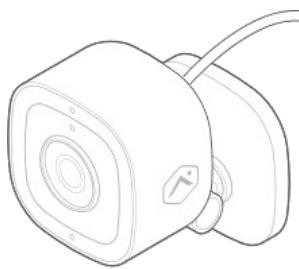
1) ブラケットを取り付けます。

●知識
UPマークを上側に
します。



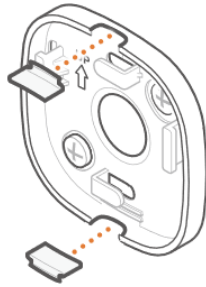
●知識

壁材の種類に応じて、適切なねじやアンカーを使って取り付けてください。

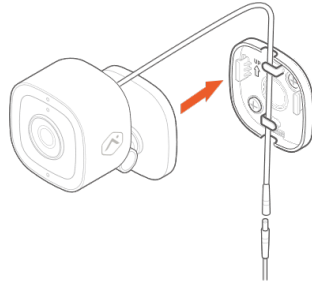


2) カメラの取付角度を決めます。

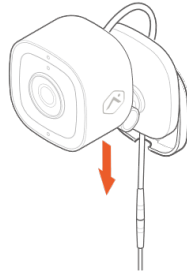




3) インサートを取
外します。



4) 有線接続の場合
はLANケーブルを接
続します。
ブラケット内のク
リップ部に配線を通
し、カメラを取り付
けます。



5) AC電源アダプ
ターを接続します。
有線接続の場合
はLANケーブルを
ルーターに接続しま
す。

●知識

安全性を考慮の上、
ケーブルの配策、処
理を行ってください。

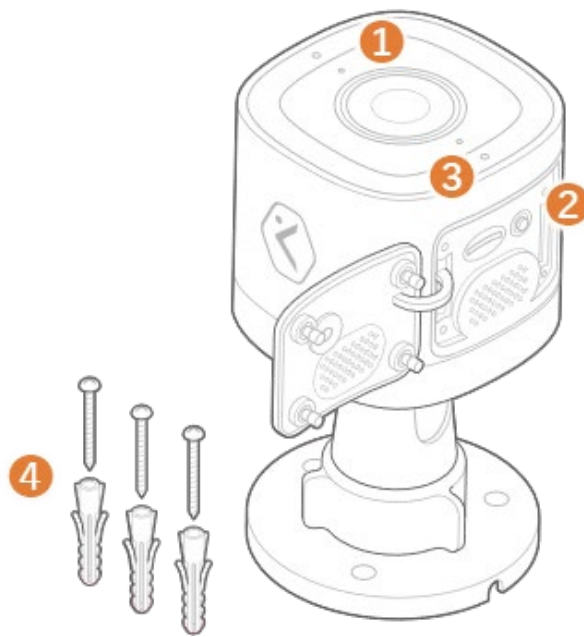
4. 設置へ

5. 初期設定へ

カメラの設置 > 設置までのステップ > 4. 設置 >

ADC-V724/724Xの設置

<各部の名称>

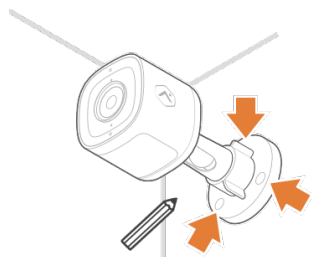
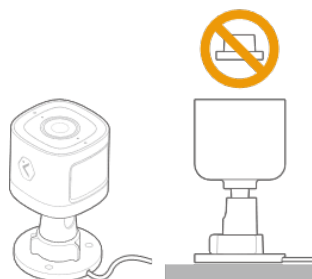
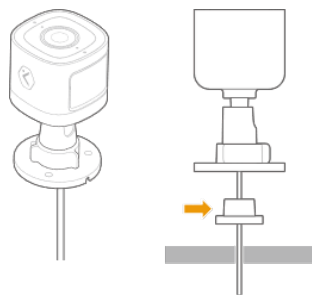


- ① LEDインジケータ
- ② リセットボタン
- ③ Macアドレス+QRコード
- ④ アンカー、ねじ

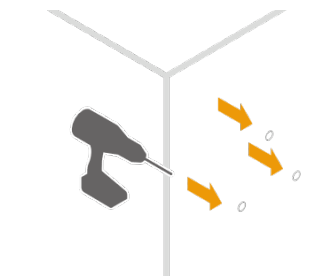
●知識

配線を壁に貫通させる場合は、ラバープラグを使用してください。

配線を台座の横穴に通す場合は、ラバープラグを取り外します。



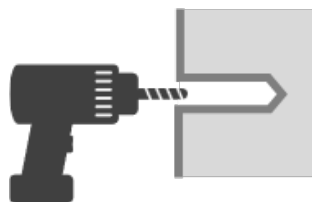
1) カメラ固定用の
穴位置に印をつけます。



2) 下穴を開けます。

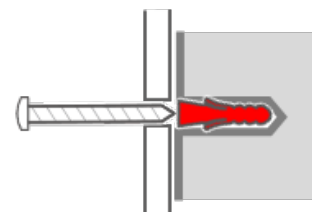
●知識

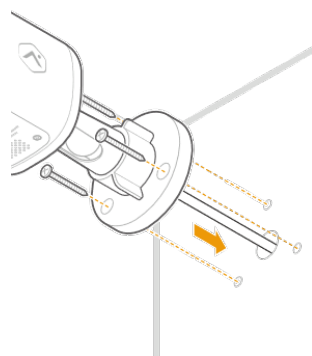
配線を壁に貫通させる場合は、配線用の穴も開けます。



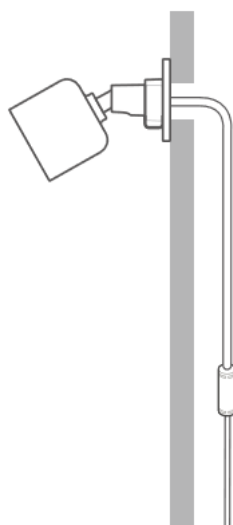
●知識

壁材の種類に応じて、適切なねじやアンカーを使って取り付けてください。





3) 配線を壁に貫通させる場合は、配線を通し、カメラを固定します。



4) AC電源アダプターを接続します。有線接続の場合はLANケーブルをルーターに接続します。

●知識

安全性を考慮の上、ケーブルの配策、処理を行ってください。

[4. 設置へ](#)

[5. 初期設定へ](#)

[カメラの設置](#) > [設置までのステップ](#) >

5. 初期設定

[キャリブレーション](#)を実行し、必要に応じて[録画ルール（クラウド）](#)、[録画ルール（ローカル）](#)を作成します。

[キャリブレーション](#)



●知識

映像が上下反転している場合は [カメラの反転設定](#) を参照ください。

[4. 設置へ](#)

[ホーム画面へ](#)

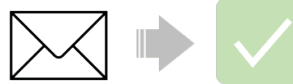
初期設定

初期設定の大まかな流れは、以下の5ステップになります。

1.
招待メールからアプリをインストール



2.
招待メールからアカウントを有効化



3.
二要素認証の設定



4.
カメラの登録



5.
キャリブレーション



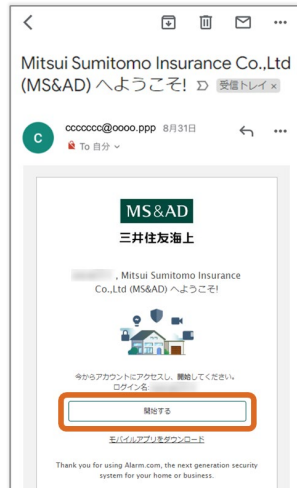
●知識

カメラの設置の向きにより、映像が上下反転している場合は カメラの反転設定 を参照ください。

ステップ1へ

初期設定 >

1. アプリのインストール



1) 招待メールを開きます。

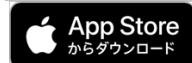
●知識

メール画面の表示はお客様の環境によって異なります。

2) [モバイルアプリをダウンロード] をタップします。



3) Alarm.comアプリをダウンロードおよびインストールします。



初期設定TOPへ

ステップ2へ

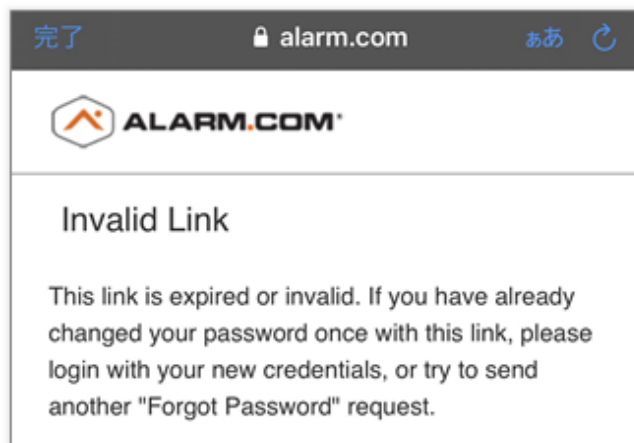
初期設定 >

2. アカウントの有効化

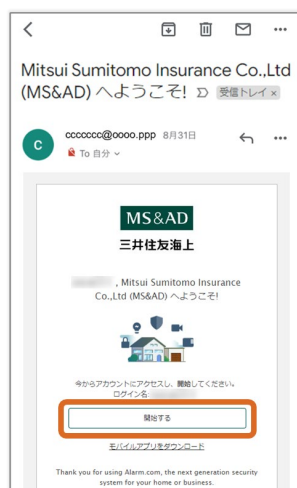
●知識

招待メールの「開始する」に設定されているリンクはメール受け取りから7日間で無効となります。

招待メールの「開始する」をタップした際に「Invalid Link」というメッセージが表示された場合、Alarm.comアプリから「パスワードのリセット」を行ってください。



パスワードのリセット



1) 招待メールを開きます。

●知識

メール画面の表示はお客様の環境によって異なります。

2) 「開始する」を

タップします。

ログイン設定

言語
日本語

ログイン
*****@*****

パスワード
(パスワードは 10 文字以上で、少なくとも 1 文字、数字 1 つ、特殊文字 1 つを含む必要があります)
新しいパスワードを入力してください
パスワードの強度:
新しいパスワードを再入力してください

秘密の質問
あなたの母親の旧姓は何ですか?

送信する

🔄

3) 「パスワード (2回)」と「セキュリティの質問」を入力し、[送信する] をタップします。



4) 「ようこそ」画面の [開始する] から各種設定を行います。



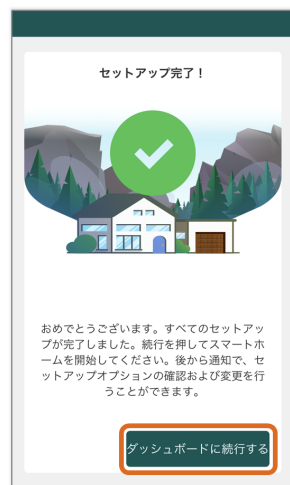
<接続を維持する>
[結構です]
す] : Alarm.comからの通知を受け取らない
[オンにする]
る] : Alarm.comからの通知を受け取る

<位置連動サービス



>
 [結構です]
 [GPSをOFF
 [オンにする]
 [GPSをON

位置連動サービスの
 使用についてはこちら
 を参照ください。



5) 「セットアップ
 完了!」画面
 の [ダッシュボード
 に続行する] をタッ
 プすると、先ほどイ
 ンストールし
 た「Alarm.comアプ
 リ」が起動します。



ステップ1へ

ステップ3へ

[初期設定 >](#)

3. 二要素認証の設定

二要素認証とは、通常のパスワード認証に加えて、ワンタイムパスワードによる認証を設定することで、セキュリティを強化できる機能です。



①認証アプリ

②Eメール

二要素認証の解除

●知識

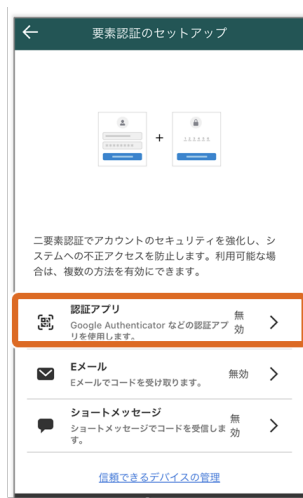
[ショートメッセージ]は使用できません。

①認証アプリ

●知識

別途「Google Authenticator」などの認証アプリが必要です。

- 1) [認証アプリ]をタップします。



2) 画面の案内に沿って認証アプリを設定し、6桁の数字を入力→ [次] をタップします。



3) [デバイスを信頼] をタップします。



4) ログイン経路のあるデバイスが表示されます。[信頼す] → [信頼] を



タップします。



5) 信頼済みのデバイスにカテゴライズされます。

「信頼済みのデバイス」はパスワードのみでのログインが可能です。

[ページTOPへ](#)

②Eメール

[Eメール] をタップします。



[送信] をタップすると、「検証コード」が送られてきます。



アプリ画面に戻り、「検証コード」を入力→ [確認] をタップします。もう一度 [次] をタップします。



以降は認証アプリのステップ4~と同様です。

[ページTOPへ](#)

二要素認証の解除



「二要素認証のTOP画面」で、[ごみ箱アイコン]をタップします。



[無効にする]をタップすることで、解除されます。

[ページTOPへ](#)

[ステップ2へ](#)

[ステップ4へ](#)

初期設定 >

4. カメラの登録

カメラの登録方法はネットワークの接続方法によって異なります。

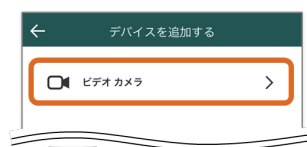
カメラを無線（アクセスポイント）で接続する場合

カメラを無線（WPSモード） または 有線 で接続する場合

カメラを無線（アクセスポイント）で接続する場合



1) メニューから「デバイスを追加する」画面を開きます。



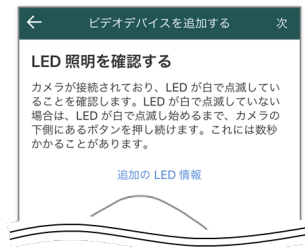
2) [ビデオカメラ] をタップします。



3) 該当のカメラを選択します。

●知識

カメラのインターネット接続が有線の場合は、カメラが検出されない場合の手順にスキップしてください。



4) カメラのLEDが白点滅していることを確認します。白点滅していない場合、白点滅になるまで、リセットボタンを長押ししてください。



5) カメラの名前(任意)を入力し、[次] をタップします。



6) WiFiの接続先を変更し、[次] をタップします。



7) カメラを接続するWiFiを選択→設定すると、カメラのインストールが始まります。



8) インストールが完了したら、[次]をタップします。



9) 「カメラを配置します」の画面が表示されたら、[次]をタップします。





10) 「録画ルールの作成」を「スキップ」します。



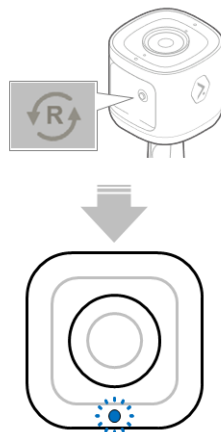
「構成が完了しました」の画面が表示されたら、カメラの登録完了です。

[ページTOPへ](#)

カメラを無線（WPSモード）または 有線 で接続する場合

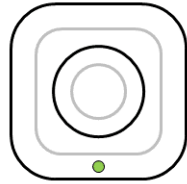
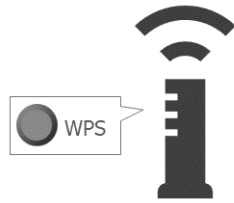
登録前の準備

無線（WPSモード）で接続する場合



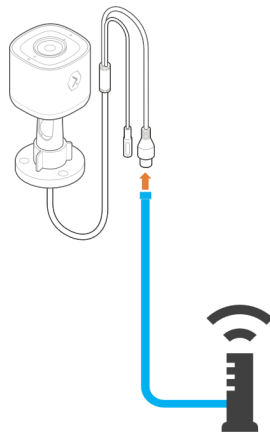
リセットボタンを押し続け、LEDを青点滅にします。

ルータの「WPSボタン」を押します。

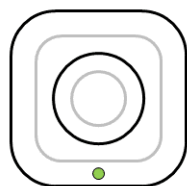


LEDが緑の点灯に変わります。

有線で接続する場合



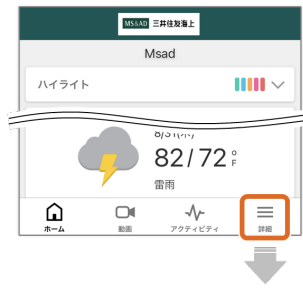
カメラにLANケーブルを接続します。



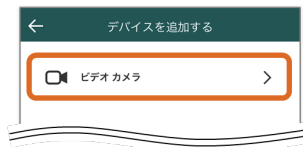
LEDが緑の点灯に変わります。

カメラの登録

- 1) メニューから「デバイスを追加



する」画面を開きま
す。



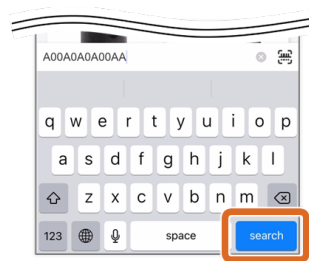
2) [ビデオカメ
ラ] をタップしま
す。



3) カメラ本体に記
載されている
「MACアドレス」
を入力します。



4) [search] を
タップします。



5) [インストール] をタップします。



6) カメラの名前 (任意) を入力し、[次] をタップします。



7) インストールが完了したら、[次] をタップします。

8) 「カメラを配置します」の画面が表示されたら、[次] をタップします。



9) 「録画ルールの作成」を「スキップ」します。



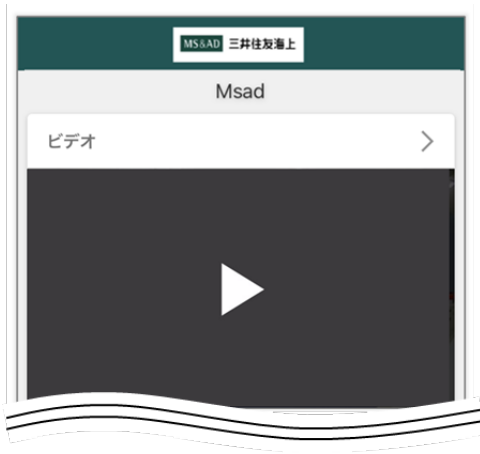
「構成が完了しました」の画面が表示されたら、カメラの登録完了です。

[ページTOPへ](#)

ホーム画面に戻り、再生ボタンを押すと、カメラの映像を確認できます。

●知識

映像が上下反転している場合は [カメラの反転設定](#) を参照ください。



ステップ3へ

ステップ5へ

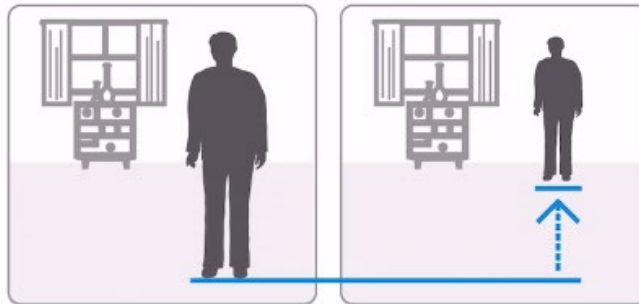
初期設定 >

5. キャリブレーション

●知識

カメラが人や物を識別するできるようにするためには、いくつかのサンプル画像が必要です。

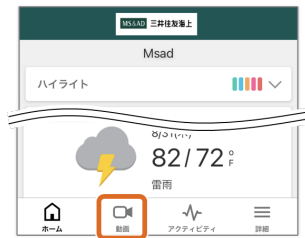
カメラの前に立ち、数歩ずつ真っすぐ後ろに下がりながら5枚の写真（サンプル画像）を撮影します。



キャリブレーションは「全身が映るように」および「数歩ずつ下がりながら」と案内されていますが、スペースの関係で難しい場合もあります。

この場合、可能な範囲で後ろに下がり、同じ位置で5枚の写真を撮影してください。





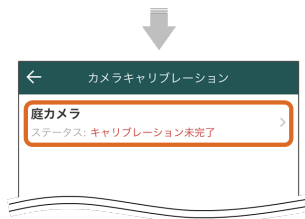
1) [動画] 画面を開きます。



2) 右上の[設定 (歯車マーク)] をタップします。



3) [カメラキャリブレーション] を選び、先ほど登録したカメラを選択します。



4) キャリブレーションのやり方が表示されます。一読し、右上の[続行] をタップします。

5) カメラの前に立ちます。
スマートフォンで映像を確認しながら、全身（頭からつままで）が映る位置に



移動します。

6) [写真の撮影] をタップします。



7) 全身が境界ボックス内に収まっていることを確認します。境界ボックスから外れている場合、境界ボックスの大きさ、位置を調整します。

●知識

全身が入りきらない場合は、可能な範囲で後ろに下がり、同じ位置で5枚の写真を撮影してください。



8) [次] をタップします。



9) 数歩ずつ真つすぐ後ろに下がりながら、手順4～7を5回繰り返します。

●知識

カメラが複数人捉えた場合、キャリブレーション対象者の「オブジェクト」を選んでください。



10) 右上の[送信する]、[完了]をタップします。

初期設定は以上になります。

ステップ4へ

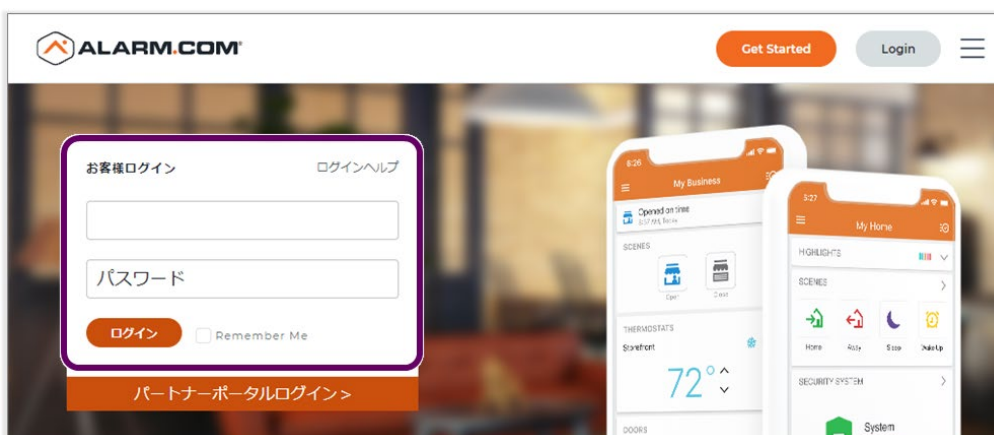
ホーム画面

カメラの反転設定（WEBサイトでの設定）

●知識

カメラの反転設定は、WEBサイト（カスタマーポータル）から行います。以下、URL（Alarm.comのログインページ）から設定してください。

<https://www.alarm.com/login>

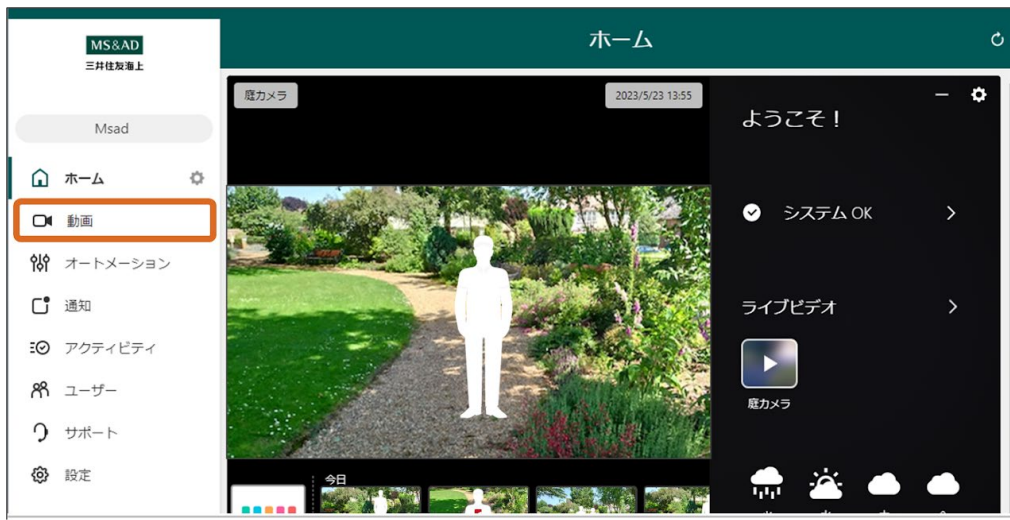


1) ユーザー名とパスワードを入力→ [ログイン] します。

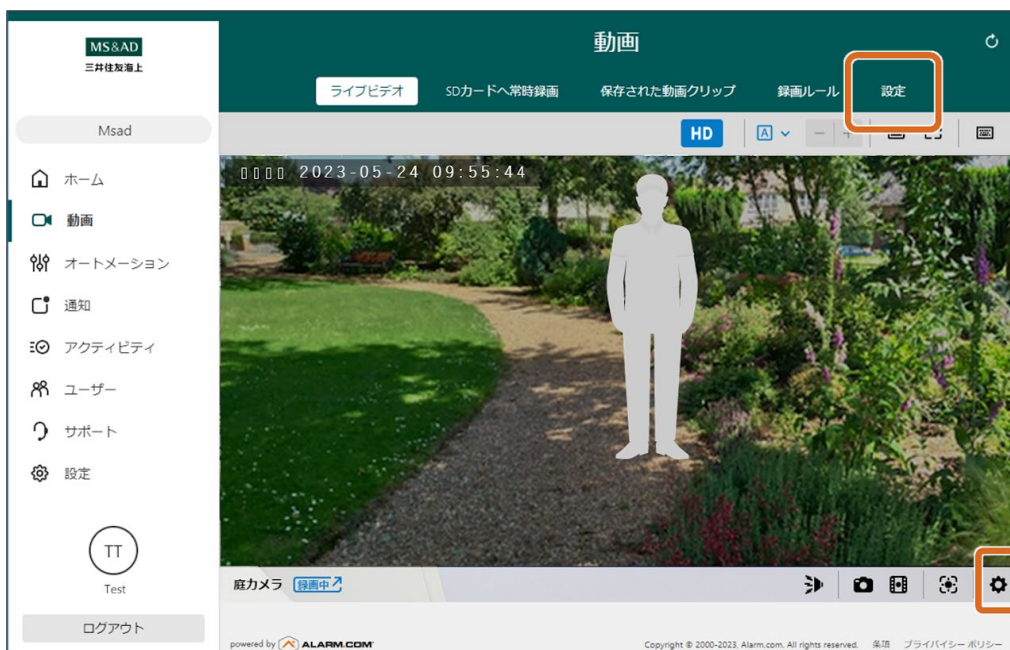
●知識

- cookieの設定は [Accept] しなくても設定の変更は可能です。
- ログイン名が不明な場合は、招待メールで確認してください。





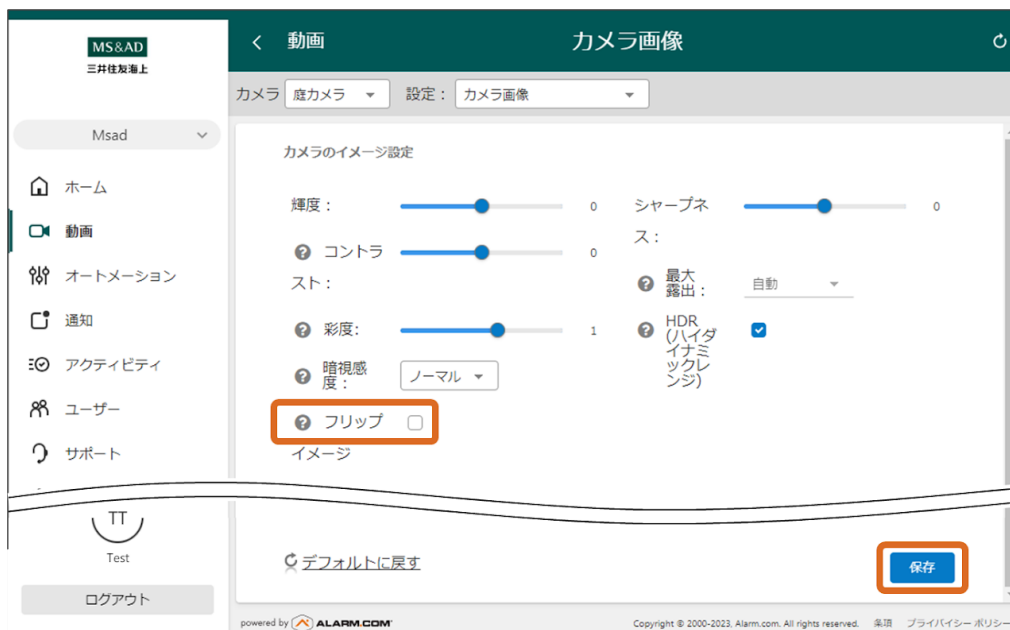
2) メニューから[動画]をクリックします。



3) 画面右上の[設定]、もしくは右下の[歯車マーク]をクリックします。



- 4) [カメラ]から対象のカメラを選択し、[カメラ画像設定]をクリックします。



- 5) 「フリップ」にチェックを入れ、[保存] をクリックします。

カメラの登録へ

キャリブレーションへ

ホーム画面



⑩動画

⑪アクティビティ

⑫詳細

①ハイライト

②リアルタイム映像

再生ボタンをタップすると映像が表示されます。

③スピーカーボタン

タップしてカメラ音声を聞くことができます。(通話ボタンを押している間は音声を聞くことはできません) 音量の調整はWEBサイト専用メニューの「通話や手動警告音の・・・」を参照してください。



④警告音ボタン

任意のタイミングでカメラから警告音を鳴らすことができます。音量の調整はWEBサイト専用メニューの「通話や手動警告音の・・・」を参照してください。



⑤録画ボタン

クリップ動画が録画できます。

⑥全画面表示

⑦通話ボタン

ボタンを長押しすると、カメラに話しかけ

ることができます。

 通話中...

⑧ 天気情報
天気情報が確認できま
す。

⑨ ダッシュボード
を編集する

ホーム画面 >

ハイライト

ハイライトでは、録画ルール（クラウド）で設定されたルールによって録画された動画クリップを、日ごとにまとめて見ることができます。



[ハイライト] をタップします。



ハイライトが自動的に再生されます。



ハイライトをダウンロードしたり共有することができます。

[ハイライトをさらに活用する] から録画ルール作成にリンクできます。

①

②



①BACK

前日のハイライトを見ることができます。

②シークバー

再生位置を調整できます。

ホーム

ホーム画面 >

ダッシュボードを編集する



[ダッシュボードを編集する]をタップします。

表示する項目を変更

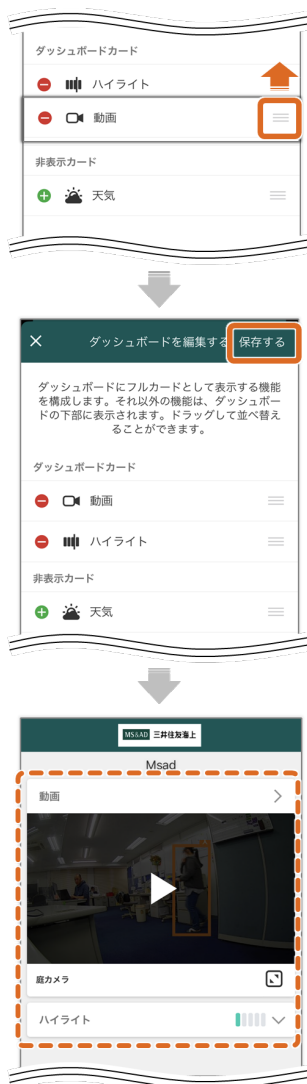


非表示にする項目のマイナスマークをタップし、[保存する]をタップします。





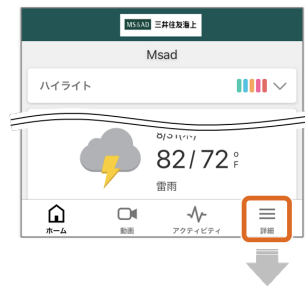
表示する順番を変更



移動する項目の「三」をタップ&ドロップし、[保存する]をタップします。

[ホーム画面](#) >

詳細



[詳細]をタップすると、メインメニューが開きます。

ユーザー

通知

位置連動サービス

ルール

録画ルール (クラウド)の「ルールの管理」を参照してください。

アカウント管理

デバイスの管理

デバイスを追加する詳細は初期設定の「4.カメラの登録」を参照してください。

ログイン情報

アプリの設定

新着情報

サポート

アプリを評価する

詳細情報

ログアウト

ホーム

動画

設定したAIカメラのライブ映像や、録画された動画を見ることができます。

[動画] をタップします。



①ライブ
リアルタイム映像を見ることができます。

②保存済

クラウドに保存された動画クリップを見ることができます。

③24時間×7日間

SDカードに常時録画された過去の動画を見ることができます。

④ビデオ設定

録画ルールなどの設定を行います。

動画 >

保存された動画クリップ

録画ルール（クラウド）によって録画された、クラウドに保存された動画クリップを見ることができます。

①動画の再生

②動画のフィルタ表示

③動画の保護

④動画の削除

⑤動画の「名前変更」「ダウンロード」「共有」

①動画の再生

■ 単独で再生する場合



動画のサムネイルを
タップすると、再生
が始まります。

[ページTOPへ](#)

■ 複数の動画を連続で再生する場合



チェックボックスに✓を入れ、「再生アイコン」をタップすると、選択した動画が連続で再生されます。

[ページTOPへ](#)

②動画のフィルタ表示



右上の「フィルター結果」をタップします。

「録画された日付」「動画の名前（説明）」などの条件を指定することで、保存されている動画を絞込むことができます。

「✓」が入っている項目が現在選択されている条件です。他の条件をタップすることで、選択条件が切替わります。

[ページTOPへ](#)

③動画の保護

保存された動画は3,000クリップ（個）を超えると、古いものから順に削除されます。保護をすることで、削除対象から外れます。

■ 一覧表示から保護する場合



チェックボックスに✓を入れ、[保護アイコン]をタップします。

（保護の解除：同様の操作を再度行うことで、解除されます）

保護されているときの表示：

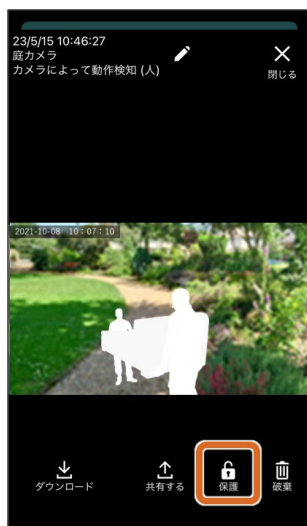


[ページTOPへ](#)

■ 再生画面から保護する場合

右下の[保護アイコン]をタップします。

（保護の解除：再度タップすることで、解除されます）



保護されているときの表示：



[ページTOPへ](#)

④動画の削除

■ 一覧表示から保護する場合



チェックボックスに✓を入れ、[削除アイコン]をタップします。

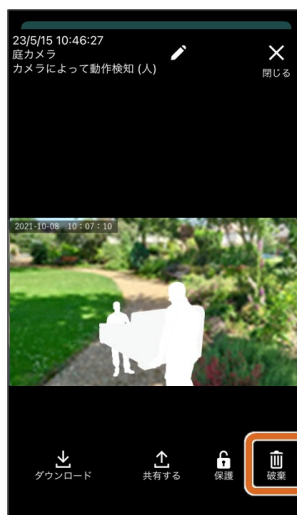
「動画クリップを削除しますか?」というポップアップが表示されます。[削除]をタップしま



す。
保護されている動画を削除する場合も同様の手順になります。

[ページTOPへ](#)

■ 再生画面から保護する場合



右下の「削除アイコン」をタップします。



「動画クリップを削除しますか?」というポップアップが表示されます。「削除」をタップします。
保護されている動画を削除する場合も同様の手順になります。

[ページTOPへ](#)

⑤動画の「名前変更」「ダウンロード」「共有」

動画の「名前変更」「ダウンロード」「共有」は、再生画面から行います。



【鉛筆アイコン】をタップすると、以下のポップアップが立ち上がってきます。任意の名前を入力し【OK】をタップします。



【ダウンロード】をタップすると、スマートフォンに動画が保存されます。
【共有】をタップし、動画の共有方法などを設定し、共有します。

[ページTOPへ](#)

動画 >

24時間×7日間

録画ルール（ローカル）によって録画された、常時録画を含む一定期間にわたってSDカード※に保存された動画を見ることができます。

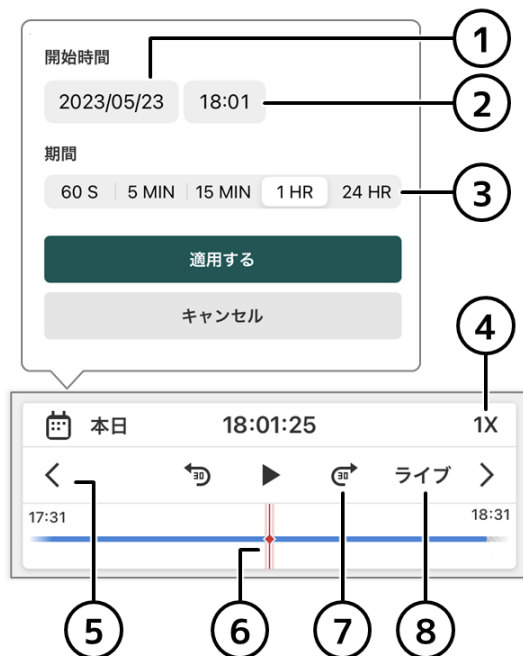
※SDカードの詳細は「ご利用にあたって」のSDカードについて（最下部に記載）を参照してください。



①動画表示

②コントロールパネル

コントロールパネル



①開始日

再生を開始する日付を選択します。

②開始時間

再生開始する時間を選択します。

③期間

再生期間を選択します。

④再生速度

1～16倍を選択できます。

⑤期間スキップ

③で設定した期間の単位で前後にスキップします。

⑥シークバー

再生位置を調整できます。

⑦30秒スキップ

30秒間、前後にスキップします。

⑧ライブ

リアルタイム映像にリンクします。

動画 >

ビデオ設定

録画ルールやカメラの詳細な設定などを行います。



① 録画ルール

録画ルールを設定します。



録画ルール (クラウド)

指定したエリアやラインに、人や車両などの侵入が検出された場合、クラウド上に録画し、ユーザーに通知する設定を行います。

録画ルール (ローカル)

常時録画を含む一定期間、SDカードに録画する設定を行います。

② カメラスピーカーボリューム

カメラから出力される音量を調節します。



③ カメラキャリブレーション

カメラのキャリブレーションを行います。詳細は初期設定の「[5.キャリブレーション](#)」を参照してください。

④ プライバシーゾーン

撮影映像（画面）の中に、写したくないエリアがある場合、その部分だけを表示（検知）しないようにする設定を行います。

⑤ カメラを追加する

カメラを追加します。詳細は初期設定の「4.カメラの登録」を参照してください。

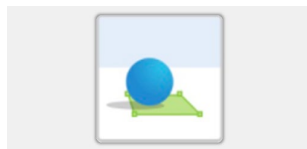
動画

動画 > ビデオ設定 >

録画ルール（クラウド）

録画ルール（クラウド）で、指定したエリアやラインに、人や車両などの侵入が検出された場合（トリガー）、クラウド上に録画し、ユーザーに通知する設定を行います。トリガーは2種類あります。1つのカメラに対し、複数のルールを設定することもできます。

検出エリア



指定したエリアで人や動物が検出されると録画される

検出ライン

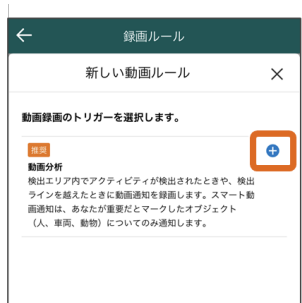


人や動物が指定したラインを超えると録画される

ルールの作成



1) [追加] または [+マーク] をタップします。



2) [+マーク] を
タップします。



3) トリガータイプ
を選び、[次] を
タップします。



4) 「屋内」または
「屋外」を選択
し [次] をタップし
ます。

5) ルールの詳細を
設定します。

[ページTOPへ](#)

■ 検出エリアの場合



①ルール名を入力

②検出エリアを設
定



図形の角をタップ&ドラッグして、検出エリアを検知させたい位置に移動させます。

② 図形の角をタップ&ドラッグして、検出エリアを検知させたい位置に移動させます。 (削除をタップすると、画像の任意の位置タップすることで図形の角を自由に設定できます)

③ 滞在時間を設定
設定範囲：0.5～120秒

④ 検知から次の検知までの間隔を設定
設定範囲：30秒～15分

⑤ ルールを適用する曜日と時間を設定

⑥ 除外ルールを設定
端末が登録した位置情報のエリア内に入った場合、検知しなくなります。

⑦ Perimeter Guardの設定
検出した場合に、カメラのLEDを点滅、警告音を鳴らします。LED点滅間隔や音の種類、音量、間隔などを設定します。

⑧ 検出するオブジェクトの種類を設定
人、動物、車、その他

⑨ 通知を設定
プッシュ通知する端末とメール通知するユーザー、添付内容を設定します。

設定が完了したら、右上の [保存] をタップします。

■ 検出ラインの場合



以下、検出エリアと同様

①ルール名を入力

②仮想ラインを設定

ラインのコーナーをタップ&ドラッグして、位置を調整します。(クリアをタップすると、画像の任意の位置を2箇所タップすることで仮想ラインを作成できます)

③ラインを超える方向を設定

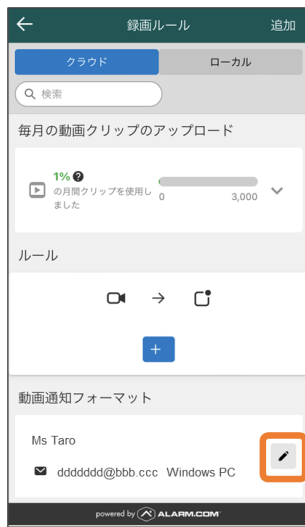
ラインを超える方向を切替えるまたは両方向に設定します。

設定が完了したら、右上の [保存] をタップします。

[ページTOPへ](#)

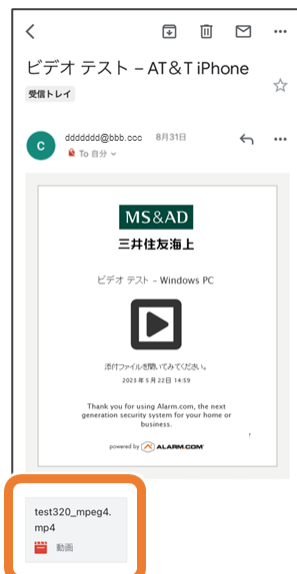
動画通知フォーマットの設定

- 1) [鉛筆マーク] をタップします。



2) 通知を受け取る
デバイスを選択
し、[テスト]を
タップします。

ポップアップが表示
されますが、そのま
ま次の手順へ進んで
ください。



3) メールに添付さ
れている動画を開
き、再生されること
を確認します。

選択したデバイスに
よって、メールに添
付される動画形式が
異なります。

- アンドロイド
(.avi)
- AT & T
iPhone (.mp4)



4) アプリ画面に戻り、[はい、設定を適用します] → [保存] をタップします。

[ページTOPへ](#)

ルールの管理



①ルールの一時停止/オフ/オン
ルールの一時停止時間の設定とオフ、オンが可能です。

②ルールの編集と削除
ルールの編集、削除ができます。

[ページTOPへ](#)

ビデオ設定

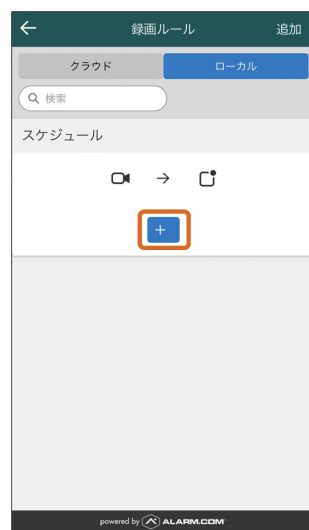
動画 > ビデオ設定 >

録画ルール（ローカル）

録画ルール（ローカル）で、常時録画を含む一定期間、SDカード※に録画するスケジュールの設定を行います。

※SDカードの詳細は「ご利用にあたって」のSDカードについて（最下部に記載）を参照してください。

ルールの作成



1) [+マーク] を
タップします。

2) ルールの詳細を
設定します。

①オン/オフ
初めてスケジュールを設定する場合、カメラを選択するとオンになります。

②カメラを選択
SDカードをセットしたカメラを選択します。



③画質の設定
4段階から設定しま
す。

④録画時間枠を設
定
常時録画、または特定
の曜日と時間のみ録画
をするかを設定しま
す。

3) 設定が完了した
ら、右上の [保存]
をタップします。



4) 初めてスケ
ジュールを設定して
保存する場
合、SDカードの
フォーマットを行っ
てください。

ルールの管理

①ルールの編集と
削除



① ルールの編集、削除が
できます。

② オン/オフ
ルールのオフ、オンが
可能です。

ビデオ設定

動画 > ビデオ設定 >

プライバシーゾーン

撮影映像（画面）の中に、写したくないエリアがある場合、その部分だけを表示（検出）しないようにする設定を行います。

●知識

プライバシーゾーンを設定すると、動画ルールの分析精度が落ちることがあります。

プライバシーゾーンの作成



1) 設定を行うカメラを選択します。



2) 詳細を設定します。

①非表示（非検出）エリアを設定

画像の任意の位置タップすることで図形の角（最大8個）を設定し、図形を作成します。作成した図形をタップ&ドラッグして、形、大きさを調整し、表示（検出）させたくない位置に移動します。

②オン/オフ
プライバシーゾーンの

オン、オフが可能です。

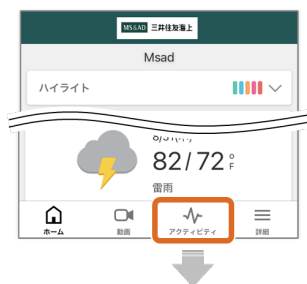
③ゾーンを選択

3つのゾーンの設定が可能です。ゴミ箱アイコンをタップすると作成したゾーンが削除されます。

設定が完了したら、右上の [保存] をタップします。

ビデオ設定

アクティビティ



[アクティビティ] をタップします。



「オブジェクトの検出情報」や「ログイン履歴」を確認できます。

ホーム

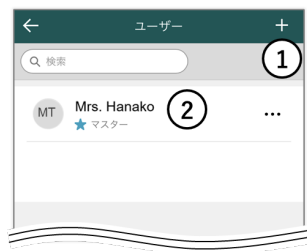
ユーザー

●知識

- ユーザータイプには、2種類あります。ひとつは検出の通知を受け取るだけの「ユーザー」で、もうひとつはマスターユーザーと同じ操作が可能な「ログインユーザー」です。
- アプリからは、「ユーザー」のみが追加できます。
- 「ログインユーザー」の追加は、WEBサイト（カスタマーポータル）からのみ行うことができます。詳細については、[ログインユーザーの追加（WEBサイトでの設定）](#)をご確認ください。



メインメニュー
の [ユーザー] を
タップします。



①新規ユーザーの作
成

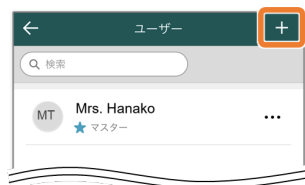
②ユーザー情報の編
集

[ユーザー](#) >

新規ユーザーの作成



新規ユーザーを作成することで、記録ルールの通知先に設定できるようになります。



1) 右上の [+マーク] をタップします。



2) 姓名を入力 → [作成] をタップします。

3) [ユーザーを追加する] をタップします。



4) メールアドレス
を入力→メール
フォーマットを選択
→ [保存] をタップ
します。

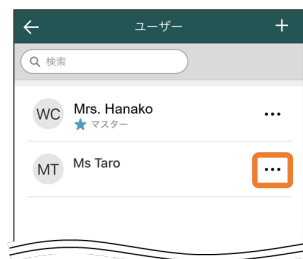
ユーザー

ユーザー >

ユーザー情報の編集



一人のユーザーに複数のメールアドレスを設定することができます。これにより、記録ルールの通知先を増やせるようになります。



1) 登録したユーザーの [⋮] をタップします。



2) 編集する場合は、[編集する] をタップします。

3) 削除する場合は、[削除] → [削除] をタップすると、ユーザーが削除

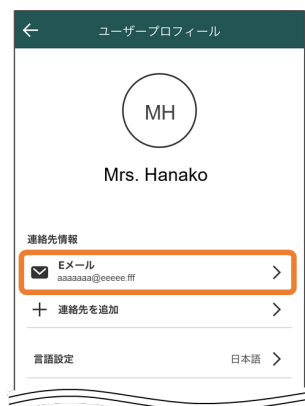


されます。

●知識

「★マスター」は削除できません。

■ メールの編集



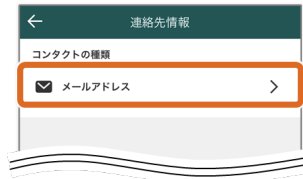
[Eメール] をタップします。



メールアドレスを入力→メールフォーマットを選択→ [保存] をタップします。

■ 連絡先の追加

[連絡先を追加] をタップします。

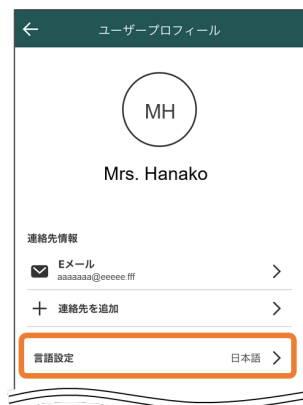


[メールアドレス] をタップします。



メールアドレスを入力→メールフォーマットを選択→ [保存] をタップします。

■ 言語設定



[言語設定] をタップします。

言語を選択し、 [保



存] をタップしま
す。

ユーザー

通知



メインメニュー
の [通知] をタップ
します。

①通知の管理

②通知
のON/OFF設定

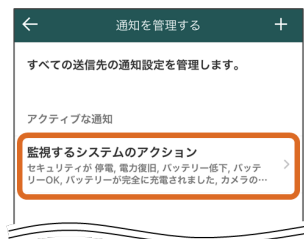
通知 >

通知の管理



右上の「設定（歯車マーク）」をタップします。

通知設定の変更



1) デフォルトで設定されている「監視するシステムの・・・」をタップすると、設定内容が表示されます。



2) 設定内容を確認、編集します。

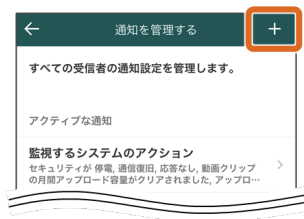
①通知を受取る項目に✓を入れます。

②通知先を追加します。



3) 設定が完了したら、右下の [保存] をタップします。

通知設定の追加



1) 右上の [+マーク] をタップします。



2) 「テンプレートを使用する」または「独自に作成する」の2つの作成方法があります。

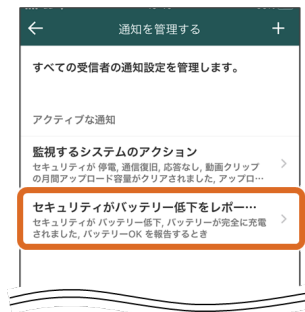
■ テンプレートを使用する

3) [テンプレートを使用する] → 「別宅の状態」 → [バッテリー残量低下] の



順にタップします。

「通知設定の変更」
ステップ2と同様に、
通知内容を確認、編集し、
受信者を追加します。



4) [保存] をタップすると、「セキュリティがバッテリー・・・」という名前の通知設定が追加されます。

■ 独自に作成する



3) [独自に作成する] → 「システムイベント」の順にタップします。

「通知設定の変更」
ステップ2と同様に、
通知内容を確認、編集し、
受信者を追加します。

4) [保存] をタッ



すると、「監視するシステム
の・・・1」という
名前の通知設定が追加されます。

通知設定の管理



1) 作成済みの通知設定をタップします。



2) 各通知設定に対して、以下の操作が可能です。

- 名前の変更
- 通知設定のオン／オフの切替え
- 削除

3) 下へスクロールし、[保存] をタップします。

通知

通知 >

通知のON/OFF設定



1) スライドボタン
をタップします。



2) 画面の案内に
沿って設定し、通知
を有効にします。



通知

位置連動サービス

位置連動サービスは、スマートフォンの位置情報を使用して、登録したエリアに到着したり出発したりするときに活用されます。具体的には、スマートフォンが登録したエリアに入ると、検出エリアや検出ラインなどのトリガーが検出されなくなります。



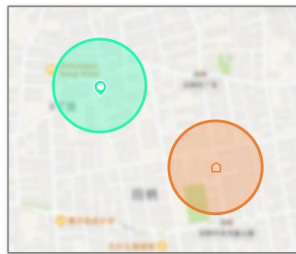
メインメニューの「位置連動サービス」をタップします。



- ①エリア表示
- ②エリアの追加
- ③エリアの編集/削除
- ④エリア設定

①エリア表示

登録済みのエリアを表示します。初期状態ではご契約いただいた住所が「ホー



例：登録済みエリアが2か所の場合

ム」
として表示されます。

[ページTOPへ](#)

② エリアの追加



1) [+] をタップします。



2) エリアを設定します。

① 現在位置
端末の現在位置を表示します。

② 住所入力
テキストで入力できません。

③ 範囲の設定
1.5km～150kmの間から設定します。

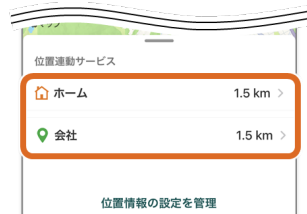
④ 名称設定
登録するエリアの名称を設定します。

3) 設定が完了したら、右上の [保存する] をタップしま

す。

[ページTOPへ](#)

③エリアの編集/削除



1) 編集を行うエリアをタップします。



2) [位置連動エリアを編集] をタップします。



3) 位置連動エリアを編集し、完了したら、右上の[保存する] をタップします。



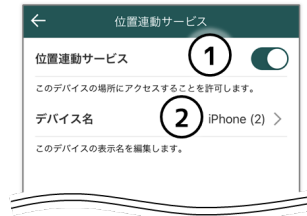
4) 削除する場合は、[位置連動エリアを編集] をタップします。

●知識
「ホーム」のエリア

は削除できません。

[ページTOPへ](#)

④ エリア設定



① オン/オフ
位置連動サービスのオン/オフを設定します。

② デバイス名
端末のデバイス名を設定します。

[ページTOPへ](#)

アカウント管理



メインメニューの「アカウント管理」をタップします。

①アカウント管理

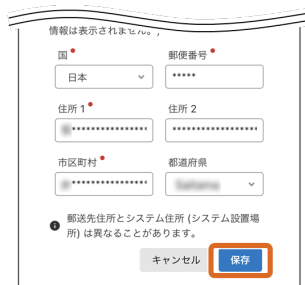
②システム情報

③プロパティ情報

①アカウント管理



1) アカウント情報を確認できます。
「編集する」をタップすると、編集することができます。



2) 設定が完了したら、[保存]をタップします。

[ページTOPへ](#)

②システム情報

← システム情報

この画面を使って、システム名、住所、タイムゾーンなどのシステム情報を管理します。システム住所は、システムがインストールされている場所です。

お客様の住所は Mitsui Sumitomo Insurance Co., Ltd (MS&AD) が管理しています。住所の変更については 03-6732-7338 までお問い合わせください。

システム名
Gest

温度単位
摂氏

体積単位
リットル

タイムゾーン
(UTC+09:00) 日

更新

システム情報を編集
できます。
編集後、[更新] を
タップします。

[ページTOPへ](#)

③プロパティ情報

← プロパティ情報

将来、カスタマイズされた経験と機能を提案できるよう、プロパティについて説明してください。

あなたのプロパティについて説明してください。

シングルファミリーハウス

ここが主な住居ですか?
-- 選択してください --

ここに誰が住んでいますか?
-- 大人 --
-- 子供 --
-- ペット --

プロパティ面積
-- 選択してください --

更新

物件情報を編集でき
ます。
編集後、[更新] を
タップします。

[ページTOPへ](#)

デバイスの管理



メインメニューの「デバイスの管理」をタップします。



① デバイスの追加詳細は初期設定の「[4.カメラの登録](#)」を参照してください。

② デバイスの編集

デバイスの管理 >

デバイスの編集



1) 登録したカメラの [...] をタップします。



2) [デバイス名を変更する] をタップし、新しいデバイス名を入力 → [OK] をタップします。



3) [デバイスの設定] をタップすると、「ビデオ設定」画面が表示されます。操作方法は「[ビデオ設定](#)」をご参照ください。

4) [デバイスの削除] → [削除] をタップすると、アプ



リからカメラが削除
されます。

デバイスの管理

ログイン情報



メインメニューの「ログイン情報」をタップします。



① ログインセキュリティ
ログインパスワードなどの変更を行います。

② ログイン情報の変更
ログイン名などの変更を行います。

[ログイン情報](#) >

ログインセキュリティ



[①パスワードの変更](#)

[②秘密の質問の変更](#)

[③二要素認証の設定](#)

[④リンクしたデバイス](#)

[①パスワードの変更](#)



1) 「パスワード」をタップします。

2) 「現在のパスワード」「新しいパスワード (2回)」を入力します。

3) 「すべてのデバ

イスをログアウト」に✓を入れ、「保存」をタップします。

●知識

「✓」なしでも変更は可能です。

[ページTOPへ](#)

②秘密の質問の変更

1) 「秘密の質問」をタップします。

2) 「セキュリティの質問」を選択、「回答」を入力します。

3) 「現在のパスワード」を入力し、「保存」をタップします。

[ページTOPへ](#)

③二要素認証の設定

初期設定の 二要素認証の設定 を参照ください。

[ページTOPへ](#)

④リンクしたデバイス

■ 信頼済みデバイスの編集



1) 登録したカメラの [...] をタップします。



2) [編集] は、デバイス名の編集が行えます。
[記憶しない] は、信頼するデバイスからの消去が行えます。

3) [編集] の場合は、デバイス名を編集し、[保存] をタップします。



4) [記憶しない]の場合は、デバイスを確認し、[記憶しない]をタップします。

[ページTOPへ](#)

ログイン情報

[ログイン情報](#) >

ログイン情報の変更



① ログイン名の変更

② メールアドレスの変更

① ログイン名の変更



1) 「ログイン名」をタップします。



2) 「ログイン名」と「現在のパスワード」を入力します。

3) 「保存」をタップします。

②メールアドレスの変更



1) [メールアドレス] をタップします。



2) メールアドレスと「現在のパスワード」を入力します。

3) [保存] をタップします。

アプリの設定

●知識

ご使用のデバイスによって、設定内容および設定方法が異なります。

[iPhoneの場合](#)

[Androidの場合](#)

アプリの設定 >

アプリの設定 (iPhoneの場合)



メインメニューの「アプリの設定」をタップします。



①外観

②Face ID (Touch ID) & 暗証番号

③Siriのショートカット
上

④位置連動サービス

[ホーム画面クイックアクション]と[本日のウィジェット]は使用できません。

①外観



アプリの背景をダークモードに変更できます。

②Face ID (Touch ID) & 暗証番号

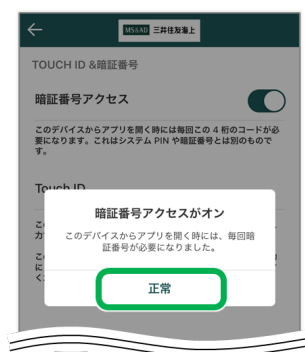
■ 暗証番号アクセス



1) [暗証番号アクセス] のスライドボタンをタップします。



2) 暗証番号 (4桁の数字) を2回入力します。



3) [正常] をタップします。

解除：

[暗証番号アクセス] のスライドボタンをタップし、暗証番号を入力することで、解除されます。

■ Face ID (Touch ID)

事前にスマートフォンの「Face ID (Touch ID)」を設定しておく必要があります。

「暗証番号アクセス」が無効の場合、「Face ID (Touch ID)」を有効にすることで自動的に「暗証番号アクセス」も有効となります。



[Face ID (Touch ID)] のスライドボタンをタップすることで、有効／無効を切り替えます。

●知識

「暗証番号アクセス」が無効の状態
で、Touch IDを有効にすると、「暗証番号アクセス」の設定を求められます。

③Siriのショートカット

- 1) 「ハイライト」
または「玄関カメラ
(カメラデバイスの名前)



の・・・」の [+ボタン] をタップします。



2) [完了] をタップします。



3) 「アクティビティをSiriと共有する」のスライドボタンをタップします。

●知識
再度タップすることで、Siriのショートカットは無効になります。

Siriを起動し、音声コマンド（「今日のハイライトを再生します。」または「庭カメラを表示す



る。」) と言ってみてください。
ポップアップで「ハイライト」または「リアルタイム映像」が表示されます。

[ページTOPへ](#)

④位置連動サービス



位置連動サービスのオン/オフと、デバイス名の変更を行うことができます。

[ページTOPへ](#)

アプリの設定

アプリの設定 >

アプリの設定 (Androidの場合)



メインメニューの「アプリの設定」をタップします。



①外観

②位置連動サービス

③暗証番号 & 生体認証

[ショートカット]は使用できません。

①外観



アプリの背景をダークモードに変更できます。

②位置連動サービス



位置連動サービスのオン/オフと、デバイス名の変更を行うことができます。

[ページTOPへ](#)

③暗証番号 & 生体認証

■ 暗証番号

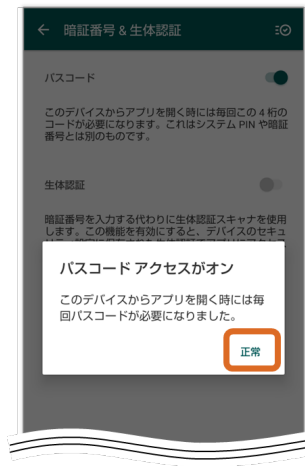


1) [パスコード] のスライドボタンをタップします。



2) 暗証番号（4桁の数字）を2回入力します。

3) [正常] をタップします。



解除：

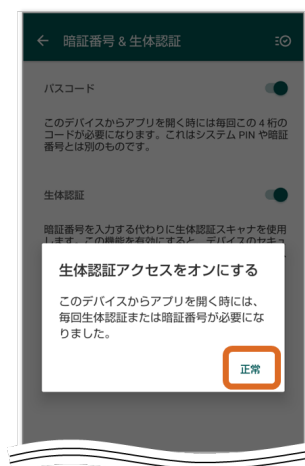
[パスコード] のスライドボタンをタップし、暗証番号を入力することで、解除されます。

[ページTOPへ](#)

■ 生体認証



1) [生体認証] のスライドボタンをタップします。



3) [正常] をタップします。

[ページTOPへ](#)

アプリの設定

その他／ログアウト



①新着情報

②サポート

③アプリを評価する

④詳細情報

⑤ログアウト

①新着情報



新着情報が確認できます。

[ページTOPへ](#)

②サポート

①サポートセンター

今ご覧になっているマニュアルページをWEBブラウザで開きます。

②お問い合わせ

入力フォームからメッセージにてお問合せ



ただけます。

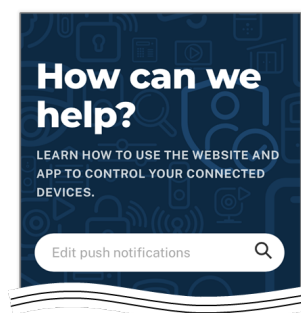


③ヘルプドキュメント

「FAQ」などがご利用頂けます。

●知識

- すべて英語でのご案内になります。
- 当製品以外の情報も含まれます。



[ページTOPへ](#)

③アプリを評価する

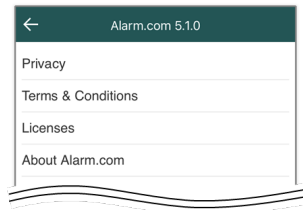
アプリの評価と



フィードバックを送信できます。

[ページTOPへ](#)

④ 詳細情報



プライバシーポリシーや利用規約をご確認頂けます。

●知識
すべて英語でのご案内になります。

[ページTOPへ](#)

⑤ ログアウト



アプリからログアウトします。

[ページTOPへ](#)

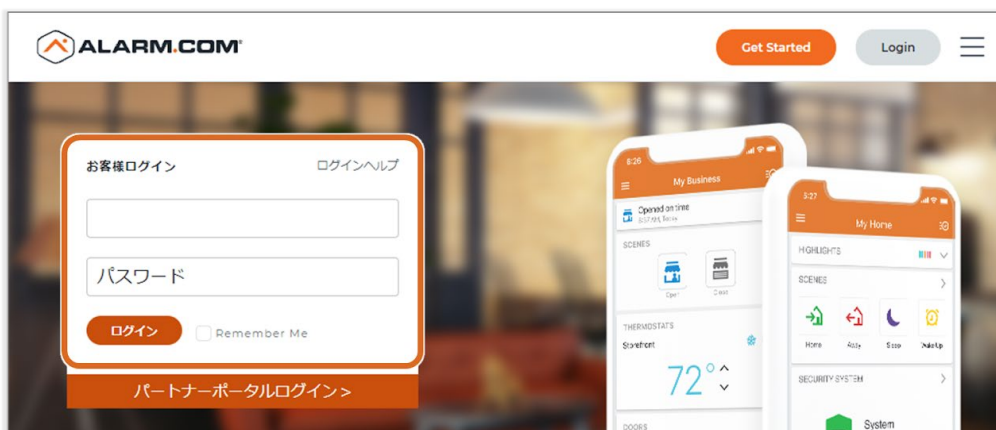
WEBサイト専用メニュー

当製品は、WEBサイト (<https://www.alarm.com/login>) からのみ操作できる機能があります。

- 常時録画データの保存
- 通話や手動警告音の音量調整など
- 映像の解像度や明るさ、フレームレートなどの調整
- 無線ネットワークの切り替え
- SDカードのフォーマット
- ログインアカウントの追加

以下、URL (Alarm.comのログインページ) から設定してください。

<https://www.alarm.com/login>



- 1) ユーザー名とパスワードを入力→ [ログイン] します。

●知識

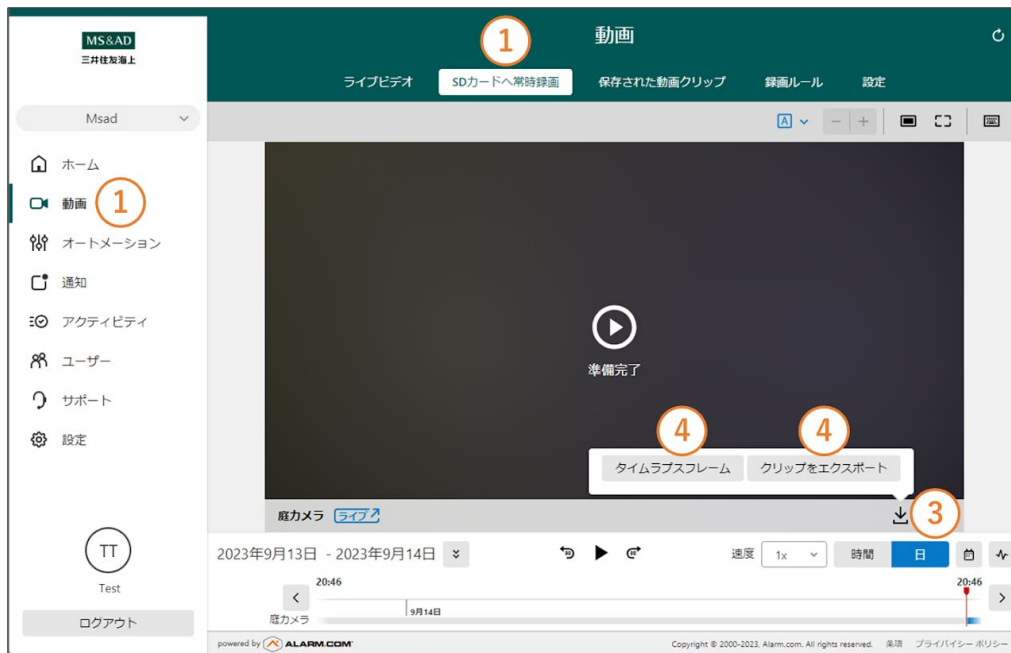
- cookieの設定は [Accept] しなくても設定の変更は可能です。
- ログイン名が不明な場合は、招待メールで確認してください。



[WEBサイト専用メニュー](#) >

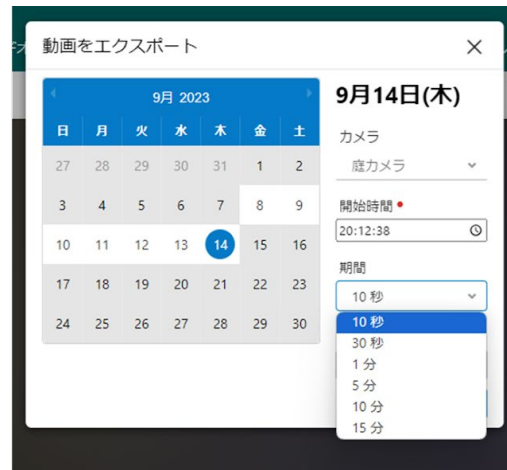
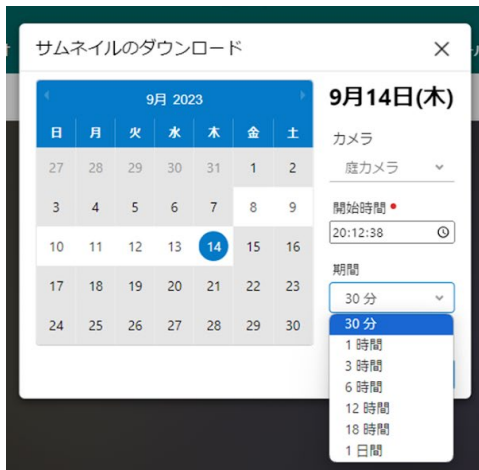
常時録画データ保存

1. サイドメニューの「動画」から「SDカードへ常時録画」を選択します。
2. ライブ映像にポインタを合わせると右下にダウンロードアイコンが表示されます。
3. 「ダウンロードアイコン」をクリックします。
4. 保存形式を選択します。

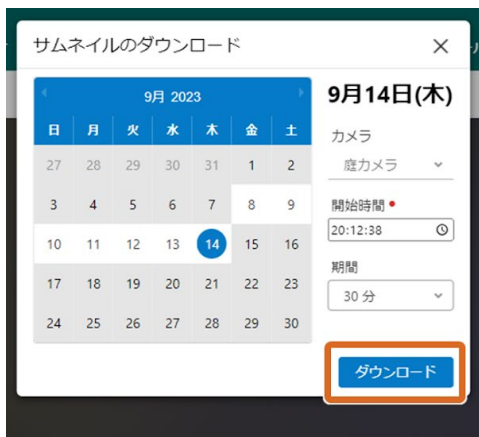


タイムラプスフレーム（サムネイルのダウンロード）：
サムネイルの画像データを取得できます。取得期間は30分から最長で1日分を指定可能です。

クリップをエクスポート（動画をエクスポート）：
動画データを取得できます。取得期間は10秒から最長で15分を指定可能です。



5. 日付、該当のカメラ、開始時間、期間を指定し、[ダウンロード] または [エクスポート] をクリックします。
6. WEBブラウザのダウンロード保存先にデータが保存されます。

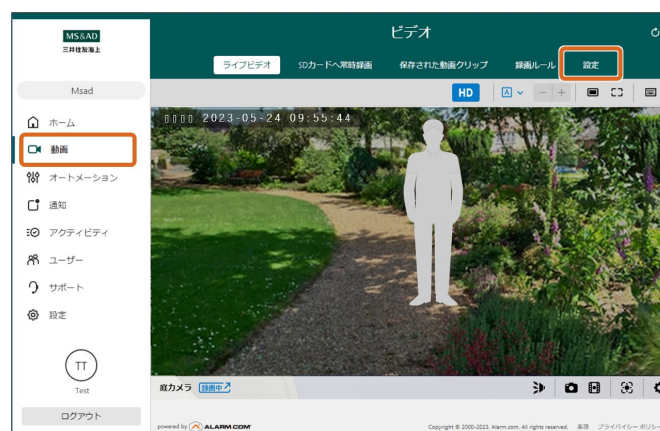


WEBサイト専用メニュー

WEBサイト専用メニュー >

ビデオ設定

サイドメニューの [動画] から [設定] を選択します。



サービスプランに含まれる機能や設定は以下の通りです。さらに毎日システムからセキュリティの情報を得るための、各機能や設定の使い方も説明しています。



カメラ情報

カメラ一般情報の表示/編集

①



ライブビデオ

ライブビデオの画質を変更します。



カメラ画像設定

カメラの画質を最適化します。



保存された動画の設定

保存された動画クリップの解像度、画質、およびクリップの長さを変更します。



動画分析キャリブレーション

カメラがホームに正しく校正されていることを確認し、カメラのアナリティクスを最適化します。カメラを新しい場所に移動した場合、毎回カメラを再校正する必要があります。



無線ネットワーク

カメラの無線ネットワーク設定を編集します。

③



SDカード情報

SDカードに関する一般情報を表示します。

④

プライバシーゾーン

①カメラ情報

②画質の設定

③無線ネットワーク

④SDカード情報

WEBサイト専用メニュー

WEBサイト専用メニュー > ビデオ設定 (WEBサイト専用) >

①カメラ情報



A) カメラ情報

カメラのモデルと、設定されているネットワーク情報が確認できます。

B) 通話の設定

カメラの双方向通話を無効にします。

また、双方向通話中のカメラのスピーカーの音量を制御できます。バーを左にスライドさせるほど、音量は小さくなります。

C) 手動トリガー警告音

カメラのライブビューによる警告音のトリガーを無効にします。

また、警告音のスピーカー音量を制御します。バーを左にスライドさせるほど、音

量は小さくなります。

●知識

現地の騒音法を遵守してください。

D) LED照明の設定

カメラのLEDを消して、カメラを目立たなくします。

E) 赤外線LED照明の設定

カメラの赤外線ライトを無効にします。これを選択すると外部の赤外線ライトや十分な可視光線がない限り、カメラは夜間に動きを検出できません。

ビデオ設定 (WEBサイト専用)

WEBサイト専用メニュー > ビデオ設定 (WEBサイト専用) >

②画質の設定

設定する内容により、画質の設定は以下の3項目に分かれています。



ライブビデオ

ライブビデオの画質を設定します。

カメラ画像設定

カメラの画質を最適化します。

保存された動画の設定

保存された動画クリップの解像度、画質、およびクリップの長さを変更します。

ライブビデオ



A) 画像の解像度

ライブビデオの解像度を設定します。

B) ライブビデオ接続

このオプションにチェックを入れると、カメラから離れた位置にいるときのライブビデオの読み込みが早くなります。

[ページTOPへ](#)

カメラ画像設定



A) 輝度

明るさを調節します。

B) コントラスト

画像の明暗の差がでます。

C) 彩度

彩度を高くすると色が鮮やかになり、低くすると色が薄くなります。

D) 暗視感度

暗視感度の調整により、カメラシーンの照明条件を基に、カメラがいつ夜間モードへ切り替わるかを制御できます。暗視への切り替えを早くしたい場合はこの設定を「高」にし、カメラが低照度で切り替わっている場合には設定を「低」にします。

E) フリップイメージ

カメラが天井に貼られているために画像が上下逆さまになっている場合には、このオプションを選択します。

F) シャープネス

画像の輪郭が見えづらい場合に調節します。

G) 最大露出

夜間の画像の明るさを調節します。自動設定では画像は明るくなりますが動きがぼやけ、1/30の露出では暗くなりますが動きはより鮮明に見えるようになります。

H) HDR (ハイダイナミックレンジ)

影や他の様々な照明がある時にHDRを有効にすると、明るい部分と暗い部分のどちらも詳細に撮影できます。照明に大きな変化がない場合にHDRを無効にすると、コントラストが大きくなり画像の美しさが向上することがあります。

[ページTOPへ](#)

保存された動画の設定



A) 解像度 (ピクセル)

動画クリップのサイズです。高解像度の動画は鮮明になりますが、容量が大きなファイルが生成されます。

B) 画質

カメラから画像が送信される際、画像は圧縮されます。最高画質は、最も圧縮率が低く最も鮮明な画像になります。

C) フレームレート

1秒あたりのフレーム数を上げると、動画の動きが滑らかになります。

D) クリップを保存する日数を制限する

選択した時間枠よりも古い動画は自動的に削除されます。「無制限」を選択すると、動画は古くとも自動的に削除されません。

●知識

動画の保護をしない限り、オンラインストレージの制限に達すると、動画は先に録画されたものから削除されます

E) ダウンロードしたクリップ形式

動画の保存形式です。この設定を変更すると、このアカウントのすべてのカメラでクリップをダウンロードする際に適用されます。

F) カメラによってトリガーされたクリップの長さ

録画されるクリップの長さは、おおよその範囲となっています。正確な長さはクリップのサイズの影響を受け、複数の連続したクリップがトリガーされると短くなる可能性があります。

G) プレトリガー録画を有効にする

このオプションを有効にすると、録画がトリガーされたとき、クリップにトリガーイベントの数秒前の動画が含まれます。

[ページTOPへ](#)

ビデオ設定 (WEBサイト専用)

WEBサイト専用メニュー > ビデオ設定 (WEBサイト専用) >

③無線ネットワークの設定

●知識

無線ネットワークの設定ではカメラの接続先を変更する（無線を切り替える）ことができます。



A) コピー

このアカウントにインストールされている別のカメラから、無線ネットワークの設定をコピーして接続します。これはほとんどのユーザーにとって最適なセットアップオプションです。

B) スキャン

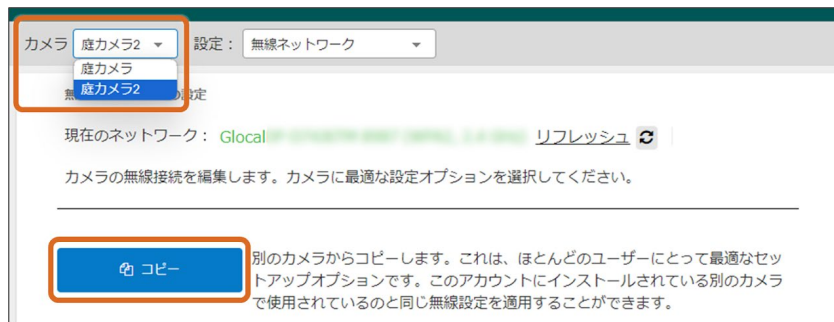
無線ネットワークのリストから該当のネットワークを選択し、接続先を変更します。

C) マニュアル

無線ネットワークの情報を入力し、接続先を変更します。

A) コピー

- 1) コピー先のカメラを選択し、[コピー] をクリックします。

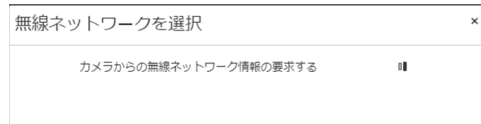


- 2) 接続先のネットワークに✓を入れます。
高度な機能により、すべてのカメラを同じ無線ネットワークに切替えることができます。
- 3) [続ける] をクリックすると、無線ネットワークが切り替わります。

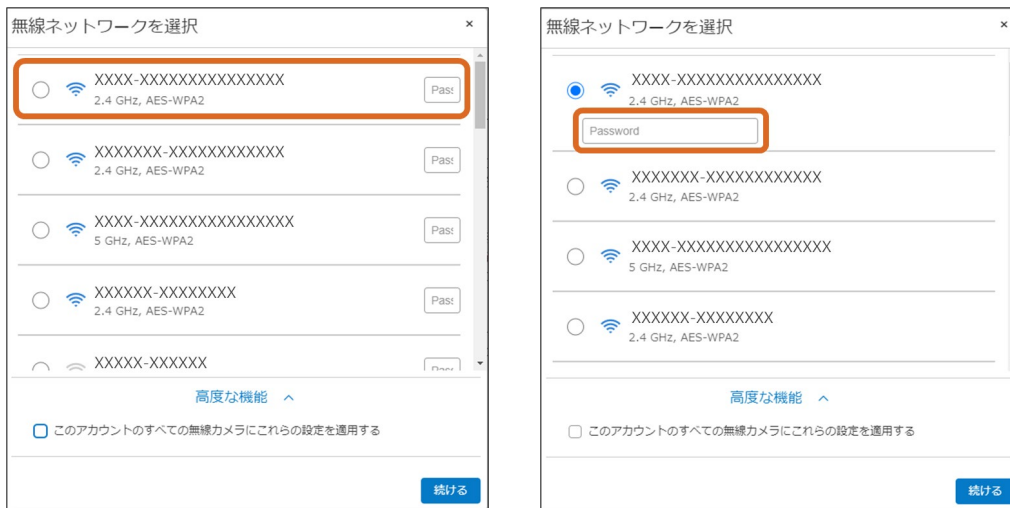


B) スキャン

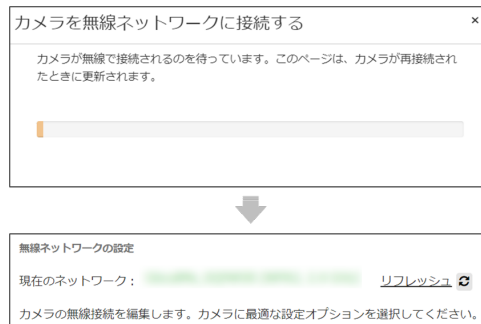
- 1) カメラが設置されている環境の無線ネットワークがスキャンされるので、しばらく待ちます。



- 2) 接続先の無線ネットワークをクリックし、パスワードを入力します。



- 3) カメラの接続先が変更され、現在のネットワーク名が変わります。



C) マニュアル

- 1) 接続先の無線ネットワークの情報を入力します。

無線ネットワークを手動で構成する ×

<p>無線ネットワーク名 (SSID) : <input type="text"/></p> <p>暗号化の種類 : 選択をする ▼</p> <p>アルゴリズム : 選択をする ▼</p> <p>パスワード : <input type="password"/></p>	<p>これは、無線ネットワークの無線ネットワーク名 (SSID)と一致する必要があります(大文字と小文字が区別されます)。</p> <p>ルータに無線で接続するには、必要なセキュリティ資格情報を使用してカメラを設定する必要があります。ルータにWEPまたはWPA暗号化がある場合は、無線ネットワーク キーを提出する必要があります。</p> <p>WPAのデータ暗号化アルゴリズム。</p> <p>無線 ネットワーク キーがルータの1番目のWEPキーの値と一致していることを確認し、ルータで1番目のWEPキーが選択されていることを確認します。</p>
--	---

[高度な機能](#) ▼

このアカウントのすべての無線カメラにこれらの設定を適用する

[続ける](#)

- 2) カメラの接続先が変更され、現在のネットワーク名が変わります。

カメラを無線ネットワークに接続する ×

カメラが無線で接続されるのを待っています。このページは、カメラが再接続されたときに更新されます。

↓

無線ネットワークの設定

現在のネットワーク: 無線ネットワーク名 [リフレッシュ](#) 🔄

カメラの無線接続を編集します。カメラに最適な設定オプションを選択してください。

[WEBサイト専用メニュー](#) >

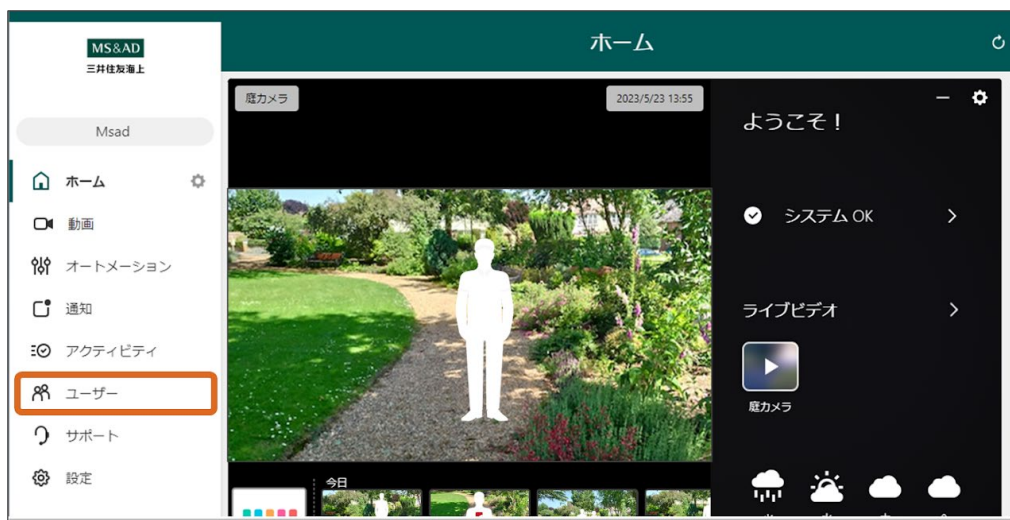
ログインユーザーの追加（WEBサイトでの設定）

ログインユーザーを追加し、それぞれの権限を任意に設定することができます。

●知識

ユーザー（検出の通知を受け取るユーザー）の追加はアプリからでも行うことができます。詳細については、[新規ユーザーの作成](#)をご確認ください。

1) メニューから [ユーザー] をクリックします。



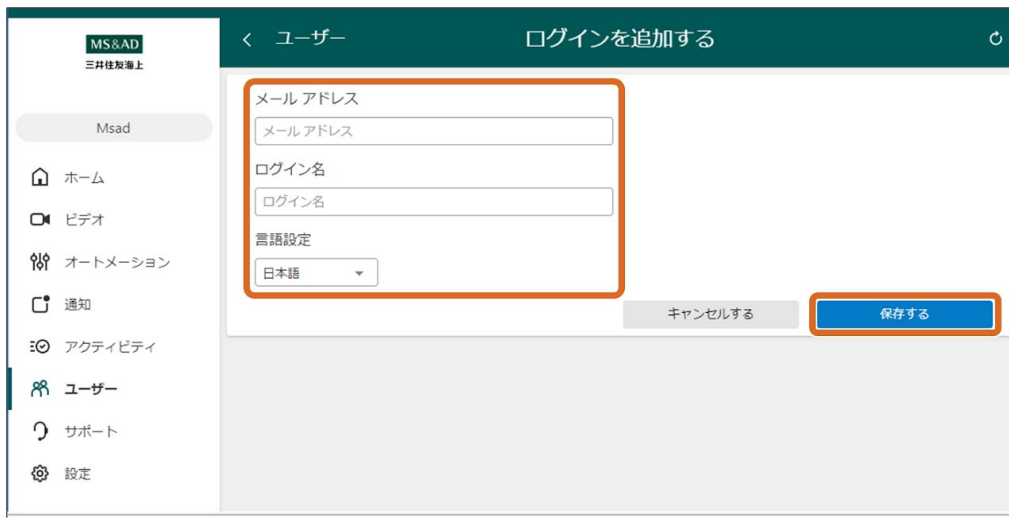
2) [ログイン情報を管理する] をクリックします。



3) 「ログインを追加する」をクリックします。



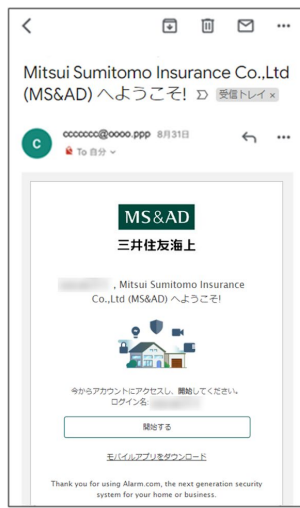
4) メールアドレス、ログイン名を入力→使用言語を選択し、「保存する」をタップします。



5) ログイン権限を設定→下へスクロール→ [保存] をクリックします。



追加したユーザー宛に招待メールが届きます。
 アプリのインストールおよび初期設定を行っていただくことで、設定した権限に応じた操作ができるようになります。



WEBサイト専用メニュー

こんなときは

トラブル時の処置方法を説明しています。必要なときにお読みください。

[パスワードを忘れた](#)

[アプリの不具合](#)

[カメラが検出されない](#)

[カメラに接続できない](#)

[添付動画が再生できない](#)

[SDカードが認識されない](#)

[サポートデスク](#)

こんなときは >

パスワードを忘れた

パスワードのリセット



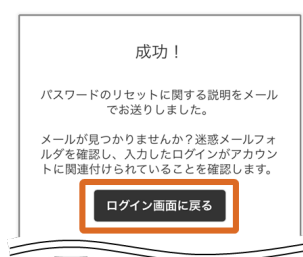
1) Alarm.comアプリを起動し、[ログインヘルプ] をタップします。



2) ユーザー名またはメールアドレスを入力し、[送信する] をタップします。

●知識

※ログイン名が不明な場合は、招待メールで確認してください。



3) 「成功!」画面が表示されたら、[ログイン画面に戻る] をタップします。

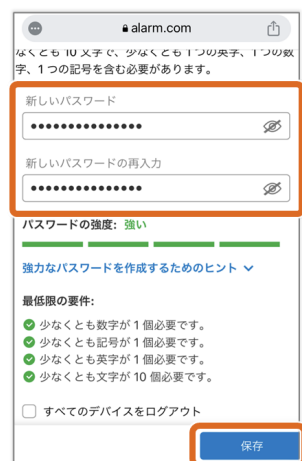


4) メールを開きます。

5) [パスワードを変更する] をタップします。



6) セキュリティの質問を選択、回答を入力し、[SUBMIT] をタップします。



7) パスワードを2回入力し、[保存] をタップします。

パスワードのリセットは以上になります。
Alarm.comアプリを起動し、「ユーザー名」と「パスワード」を入力、ログインしてください。

こんなときは

[こんなときは >](#)

アプリの不具合

以下のような場合、まずはアプリを再起動してみてください。問題が解決しない場合は、「アプリのアンインストール→再インストール」を行ってください。

- アプリが反応しない
- エラーメッセージが何度も表示される



エラーメッセージの一例

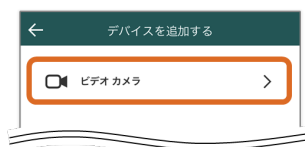
[こんなときは](#)

こんなときは >

カメラが検出されない



1) メニューから「デバイスを追加する」画面を開きます。



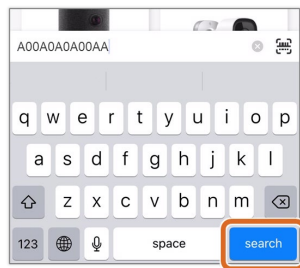
2) [ビデオカメラ] をタップします。



3) MACアドレスを入力します。

MACアドレスはカメラ本体に記載されています。「手動」または「QRコード読み取り」にて

入力してください。



4) [search] をタップすると、デバイスの検索が開始されます。



5) 「デバイスが見つかりました」画面が表示されたら、[インストール] をタップします。



6) カメラの名前（任意）を入力し、[次] をタップすると、カメラの登録（インストール）が開始します。



7) 「デバイスを構成」の画面が表示されたら、[次] をタップします。



8) 「カメラを配置します」の画面が表示されたら、[次] をタップします。

●知識

この時点では映像が上下反転しています。この後、設定を変更します。ここではそのまま [次] をタップしてください。



9) 「録画ルールの作成」を [スキップ] します。

10) 「構成が完了」



しました」の画面が表示されたら、カメラの登録完了です。



11) ホーム画面に戻り、再生ボタンを押すと、カメラの映像を確認できます。

こんなときは

[こんなときは >](#)

カメラに接続できない

カメラのLEDを確認します。

- 無灯の場合：電源の接続状態を確認してください。
- 赤色の場合：お部屋のWi-Fiを確認してください。
- 緑色の場合：ジャンクションコネクタの接続を外し、再度接続します。



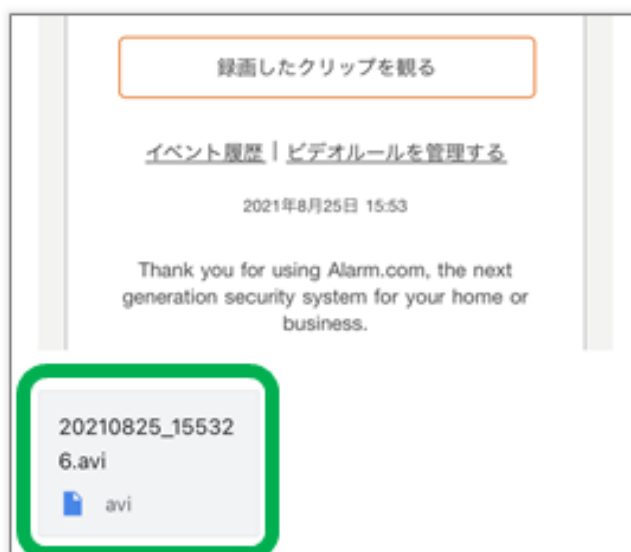
カメラのLED

[こんなときは](#)

[こんなときは >](#)

添付動画が再生できない

録画ルール（クラウド）の「動画通知フォーマットの設定」を確認してください。



[こんなときは](#)

[こんなときは >](#)

SDカードが認識されない

以下を確認および実施ください。

SDカードの互換性を確認する

推奨するSDカード：

- WD Purple micro SD cards
- Micron Industrial Memory cards
- SanDisk High Endurance

カード容量：

- 512GB以下
-

録画スケジュールを削除して再作成する

詳細は[録画ルール（ローカル）](#)を参照ください。

SDカードを再フォーマットする ※WEBサイト（カスタマーポータル）からのみ操作可能

注意：SDカードを再フォーマットすると、保存されている映像はすべて削除されます。フォーマットする前に必要なデータを保存してください

い。

データの保存方法は、[WEBサイト専用メニュー](#)の「常時録画データの保存」を参照してください。

SDカードのフォーマット方法は、[WEBサイト専用メニュー](#)の「SDカードのフォーマット」を参照してください。

こんなときは

[こんなときは](#) >

サポートデスク

不具合が発生した場合、まずは『こんなときは』の内容をご確認ください。また、

- インターネット環境
- スマートフォン
- カメラ本体

についての接続状況、機能をご確認いただき、必要に応じてアプリの再インストール、再設定をお試しください。

こんなときは

初期設定

問題が解決しない場合は、サポートメニューからメールにてお問い合わせください。

✉ customercenter@mslifeconnect.com



- お問い合わせの前に、マニュアルの「こんなときは」をご確認ください。
- 休日（土・日・祝など）の前日午後および休日のお問い合わせは、翌営業日以降のご回答となります。
- 早急にご回答するように努めますが、ご回答までにお時間をいただく場合や、ご質問によってはお応えできかねる場合もございます。あらかじめご了承ください。
- 各キャリアのセキュリティ設定のためユーザー受信拒否と認識されているか、お客様が迷惑メール対策等でドメイン指定受信を設定されている場合に、メールが正しく届かない場合がございます。
- メールが届かない場合には、お手数ですが、ドメイン指定受信の解除、またはメール設定のご確認をお願いいたします。
- お客様にご回答いたしました内容は、お客様個人に宛てたものです。メールの一部または全てを転用したり、二次利用することはご遠慮ください。

こんなときは